

# 日本気象学会 2008年度秋季大会

会期：2008年11月19日（水）～21日（金）  
会場：仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山）

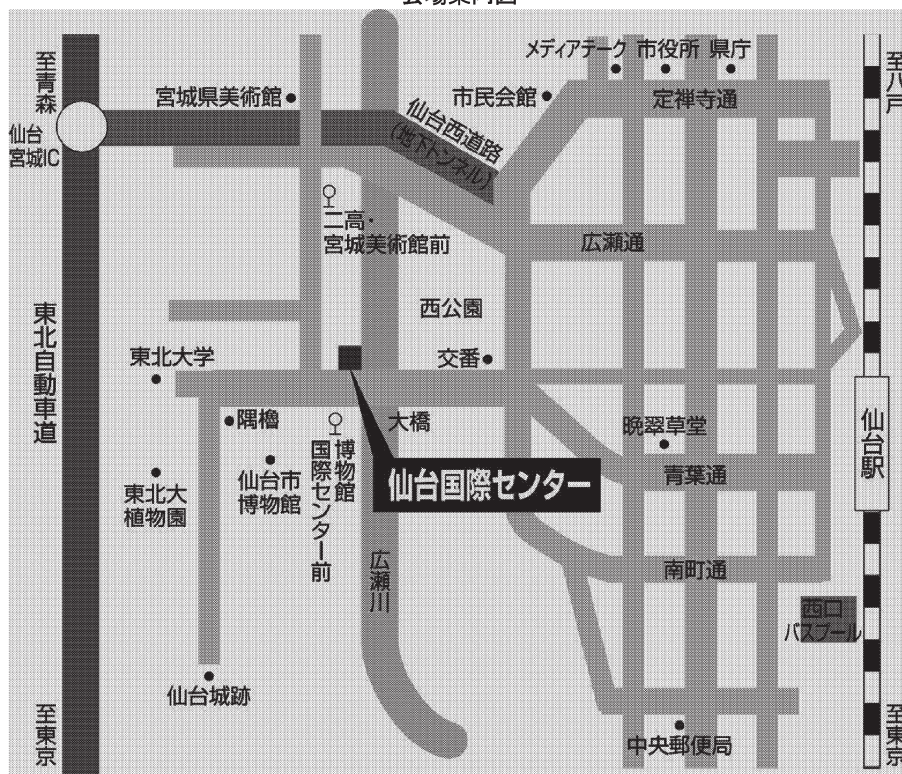
大会実行委員会担当機関：仙台管区気象台，東北大学大学院理学研究科，（財）日本気象協会東北支局  
大会委員長：大島 隆（仙台管区気象台）

当日の会場への連絡先：大会実行委員会事務局（仙台国際センター小会議室4）TEL・FAX：022-266-6022

## 交通の案内

- 仙台空港からJR仙台駅まで  
JR：仙台空港アクセス鉄道（料金630円）  
バス：リムジンバス（料金700円）
- JR仙台駅から会場（仙台国際センター）まで  
バス：乗車／仙台駅前（西口バスプール⑨番乗場）  
路線名／「宮教大・青葉台」「宮教大」「宮教大・成田山」「動物公園循環 青葉通・工学部経由」  
降車／博物館・国際センター前（徒歩1分）  
料金／180円  
タクシー：JR仙台駅から約7分（1000円程度）  
徒歩：JR仙台駅から約30分（約2km）

## 会場案内図



## 大会行事予定

A会場 : 大会議室「橘」 (2階) シンポジウム・各賞授与式会場 : 大会議室「橘」 (2階)  
 B会場 : 大会議室「萩」 (2階)  
 C会場 : 中会議室「白樺1」 (3階) 受付 : 2階ロビー (2階)  
 D会場 : 中会議室「白樺2」 (3階) 大会事務局 : 小会議室4 (2階)  
 ポスター会場 : 展示・レセプションホール「桜1」 (2階) 懇親会 : 展示・レセプションホール「桜1」 (2階)

( ) は講演数, - は座長

		A会場	B会場	C会場	D会場
11月 19日 (水)	09:30～ 12:30	気候システム I (17, A101～A117) -野田 彰-	微量気体・GOSAT (17, B101～B117) -菅原 敏- -齋藤尚子-	大気境界層 (17, C101～C117) -菅原広史- -渡邊 明-	気象予報 (9, D101～D109) -斉藤和雄- 台風 (9, D110～D118) -北島尚子-
	13:30～ 17:00	スペシャル・セッション 「GAMEからMAHASRI へ～モンsoon研究の 進展と今後～」 (15, A151～A165) -里村雄彦- -樋口篤志- -松本 淳-	降水システム I (21, B151～B171) -三隅良平- -中里真久-	気象教育 (2, C151～C152) -勝俣昌己- 熱帯大気 (19, C153～C171) -勝俣昌己- -西 憲敬-	大気力学 (9, D151～D159) -板野稔久- 中層大気 (12, D160～D171) -河谷芳雄-
	17:00～ 18:00	ポスター・セッション (98, P101～P198)			
11月 20日 (木)	09:15～ 12:00	気候システム II (16, A201～A216) -石原幸司-	エアロゾル (16, B201～B216) -青木一真-	相互作用 (16, C201～C216) -小木雅世- -佐藤尚毅-	観測手法・放射 (15, D201～D215) -長澤親生-
	13:00～ 13:30	山本正野論文賞・堀内賞・奨励賞授与			
	13:30～ 15:00	山本正野論文賞・堀内賞記念講演			
	15:30～ 17:45	シンポジウム「地域の詳細な気象と気候の再現を目指してーダイナミックダウンスケール技術の 高度利用ー」司会: 山崎 剛 基調講演: 岩崎俊樹, 高敷 出, 木村富士男, 余田成男, 中井専人, 菅野洋光			
	18:00～ 20:00	懇親会			
11月 21日 (金)	09:15～ 11:30	スペシャル・セッション 「データ同化と予測可能 性」I (8, A301～A308) -茂木耕作-	スペシャル・セッション 「ミャンマーサイクロン 」 (8, B301～B308) -山田広幸-	スペシャル・セッション 「極端現象の発生頻度と 長期変動: 統計的アプ ローチとその課題」 (9, C301～C309) -松本 淳- -藤部文昭-	スペシャル・セッション 「惑星大気の新しい観測 と理論」 (10, D301～D310) -小高正嗣- -今村 剛-
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (98, P301～P398)			
	13:30～ 17:00	スペシャル・セッション 「データ同化と予測可能 性」II (14, A351～A364) -山根省三- -三好建正-	降水システム II (20, B351～B370) -佐竹晋輔- -中村晃三-	スペシャル・セッション 「iLEAPS (the Integrated Land Ecosystem- Atmosphere Processes Study)」 (14, C351～C364) -三枝信子-	スペシャル・セッション 「産業と気象 II ～気象 情報・技術の産業への 寄与を考える～」 (16, D351～D366) -酒井重典-

発表件数: 505件 (口頭発表309, ポスター196)

口頭発表の講演・質疑時間: 7分と3分

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には、日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は、利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052茨城県つくば市長峰1-1気象研究所予報研究部内 講演企画委員会  
 (e-mail: kouenrikaku2008a@mri-jma.go.jp) まで。

## 大会参加費・懇親会費

### 大会参加費

- 大会参加費は以下の表の通りです。

大会参加費		
種別	前納	当日
講演者A	8,000円	—
講演者B	5,000円	—
聴講者	3,000円	4,000円

- 講演者の種別：
  - 講演者A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）
  - 講演者B：講演者Aに該当しない講演者
- 講演件数が2件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。
- シンポジウムのみに参加する場合は、参加費は無料です。

### 懇親会費

- 懇親会費は以下の表の通りです。

懇親会費		
種別	前納	当日
一般	5,000円	5,500円
学生	3,500円	4,000円

### 支払方法

- 講演者の参加費の支払い方法は前納のみとなっており、既に受付は締め切られています。
- 懇親会費及び聴講者の参加費を前納する場合は、大会ホームページにて2008年10月7日（火）までにお支払下さい（郵便振替の場合は2008年9月30日（火）まで）。それを過ぎた場合は当日払いとなります。

### 領収書

- 領収書は参加者本人の名義で、大会当日受付にて名札と一緒に手渡される予定です。
- 名義の変更が必要な場合には再発行が可能ですので、大会当日受付にてお申し出下さい。

### その他

- 一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- 参加費・懇親会費には会員・非会員の区別はありません。
- 非会員の方も規定の参加費・懇親会費をお支払い頂ければ大会・懇親会に会員と同様に参加することができます。

## 講演の方法

### 口頭発表（スペシャル・セッションを含む）

- 一般口頭発表の講演1件あたりの持ち時間は10分（講演7分・質疑3分）です。
- スペシャル・セッションの発表時間については世話人からの指示に従ってください。
- 講演にはPCプロジェクターとOHPが使用できます。
- 止むを得ない事情で使用機器が講演申込時に予め届け出ていた機器と異なる場合は、セッション開始前までに座長と会場係にその旨を申し出て下さい。
- PCプロジェクターを使用する際は予め以下の点をご了承ください。
  - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
  - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出て下さい。
  - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応することがあります。また、場合によってはOHPによる発表に

切り替えさせて頂くこともあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備やOHPシートの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

### ポスター発表

- 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、縦180 cm × 横120 cm程度となっています。
- ポスターの掲示にあたって画鋲・ピンが使用できますが、テープ類は使用できません。これらは発表者自身で準備してください。
- ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。会場の都合上時間厳守をお願いします。
  - ✓ 第1日の発表者は11月19日13:00～18:00
  - ✓ 第3日の発表者は11月21日09:00～13:00
- ポスター会場での機器の使用は、講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

## 保育施設の紹介について

今大会では、保育施設の幹旋ならびに保育施設利用料の一部補助を行います。利用を希望される方は、10月10日（金）までに下記の担当者までご連絡ください。

連絡先：鈴木 和明（仙台管区気象台技術部予報課）  
TEL：022-297-8136， E-mail：kaz\_suzuki@met.kishou.go.jp

## シンポジウム「地域の詳細な気象と気候の再現を目指して —ダイナミックダウンスケール技術の高度利用—」

日時：大会第2日（11月20日） 15:30～17:45  
会場：仙台国際センター 大会議室「橘」（大会A会場）  
司会：山崎 剛（東北大学大学院理学研究科）

※シンポジウムの聴講は無料です

### 趣旨：

高気圧・低気圧の振る舞いや台風進路などの予報は、数値予報の発達とともに、以前に比べて、大変精度が向上しました。しかしながら、頭上の天気は、高気圧・低気圧分布だけで決まっているわけではなく、空間スケールのより小さな、メソと呼ばれる現象にも支配されています。メソ現象は大変複雑で、時として、豪雨や強風など大きな気象災害を引き起こします。地域の詳細な気象・気候情報の作成・利用法の開発が求められています。

地域の詳細な気象・気候を推定する手法として、ダイナミックダウンスケールという技術が注目されています。ダウンスケールとは、環境場の低解像度気象情報が既知の場合に、高解像度の局地気象情報を推定するという意味で使われています。特に、与えられた側面境界の下で実行した領域数値シミュレーションを利用する場合は、ダイナミックダウンスケールと呼ばれています。領域を限れば、ターゲット（現象）に合わせた高解像度シミュレーションを、比較的容易に実施できるようになり、地域の詳細な気象や気候の研究に盛んに利用されるようになりました。身近な現象をリアルに再現するとともに、地上気象要素の予測・診断も容易に行うことが可能となり、応用分野も急速に拡大しています。本シンポジウムでは、日本の地球温暖化予測、アジアモンスーン、アンサンブル気象予測、防災利用、産業利用などについて、ダイナミックダウンスケールに関する様々な話題を提供していただき、今後解決すべき課題と将来の可能性について考えます。

なお、このシンポジウムは、一般の方にも公開いたします。市民の皆さまにも、気象・気候情報の利用について考えていただくと共に、日本気象学会の活動に一層のご理解とご支援をいただければ幸いです。

### 基調講演

- |                             |                            |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1) 「ダイナミックダウンスケールの課題と展望」    | 岩崎 俊樹（東北大学）                |
| 2) 「地域気候モデルによる温暖化予測」        | 高藪 出（気象研究所）                |
| 3) 「アジアにおける降水帯の再現とメカニズムの考察」 | 木村 富士男（筑波大学）               |
| 4) 「領域モデルによるアンサンブル予報」       | 余田 成男（京都大学）                |
| 5) 「雪氷防災情報への利用」             | 中井 専人（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター） |
| 6) 「農業への利用」                 | 菅野 洋光（農研機構東北農業研究センター）      |

### 総合討論

## スペシャル・セッションの概要紹介

### GAMEからMAHASRIへ～モンスーン研究の進展と今後～

日時：大会第1日（11月19日）13:30～17:00

場所：A会場

趣旨：GAME（GEWEX Asian Monsoon Experiment；GEWEX モンスーンアジア観測計画）集中観測（IOP）が1998年に実施されちょうど10年になる。国際的には、WCRP（世界気候研究計画）のGEWEX（全球エネルギー・水循環観測計画）での後継プロジェクトとなるMAHASRI（Monsoon Asian Hydro-Atmosphere Science Research and Prediction Initiative:モンスーンアジア水文気候研究計画）が立ち上がり、CLIVAR（気候変動及び予測可能性研究計画）とも共同で2008-2009年はAMY（アジアモンスーン観測年）の集中観測を実施している。本スペシャル・セッションでは、GAME-IOP およびその後に行われたプロジェクト研究等で得られた知見を中心として、GAME-IOP後のモンスーン研究の進展を整理し、今後の研究の方向性について議論する。

世話人：里村雄彦（京都大学大学院理学研究科）、松本 淳（首都大学東京大学院都市環境科学研究科 / 海洋研究開

発機構地球環境観測研究センター）、樋口篤志（千葉大学環境リモートセンシング研究センター）

### データ同化と予測可能性

日時：大会第3日（11月21日）09:15～11:30、13:30～17:00

場所：A会場

趣旨：近年、初期値が数値予報精度に与える影響について理解が深まり、力学的に一貫した高度なデータ同化手法が実用化されている。データ同化研究は、4次元変分法等を開発し現業化した予報現業機関を中心として進められている。大学等教育研究機関でも、アンサンブル・カルマンフィルタの出現により、比較的簡便に高度なデータ同化手法を用いた研究が可能となってきた。データ同化は、追加の観測に適した領域を推定する感度解析や、観測のインパクトを評価する観測システム実験（OSE）に応用され、観測研究とシミュレーション研究を結びつける手段として注目を集めている。また、初期値の感性に関する議論から、予測可能性、アンサンブル予測研究といった分野へと広がりを見せている。このような背景の下、我が国でもデータ同化と予測可能性研究が活発になってきている。本セッション

ョンでは、この分野の最新の研究成果を集め、討論を行うことを目的とする。

**世話人:** 榎本 剛 (海洋研究開発機構地球シミュレータセンター)、三好建正 (気象庁予報部数値予報課)、山根省三 (同志社大学理工学部)、茂木耕作 (海洋研究開発機構地球環境観測研究センター)

### ミャンマーサイクロン

**日時:** 大会第3日 (11月21日) 09:15~11:30

**場所:** B会場

**趣旨:** ことし (2008年) 5月上旬、サイクロンNargisが、ミャンマーのデルタ地帯に上陸し、甚大な被害をもたらした。これまで北インド洋のサイクロンについては、バングラデシュのサイクロンの被害調査などは行われているものの、ミャンマーに被害をもたらしたサイクロンについては研究があまり行われていない。今回のサイクロンはどのように発生したのか、なぜ急発達したのか、進路が特異だったのはなぜか、あれだけの大きな被害が出たのはなぜか等、多くの解明すべき点がある。本セッションでは、これらの点について調べた研究結果を発表する機会とするとともに、気象学的なアプローチだけでなく、水文学的な見方、海洋学的な見方などについても発表をお願いしたい。さらに、北インド洋でのサイクロンについて調べた結果などについても議論したいと考えている。

**世話人:** 佐藤正樹、高敷 縁 (東京大学気候システム研究センター)、中澤哲夫 (気象研究所)、林 泰一 (京都大学防災研究所)

### 極端現象の発生頻度と長期変動: 統計的アプローチとその課題

**日時:** 大会第3日 (11月21日) 09:15~11:30

**場所:** C会場

**趣旨:** 大雨、高温、強風などの極端な現象に対する統計的な知見 (極値の再現確率など) は、防災をはじめとして社会の多方面で必要とされており、近年“異常気象”に対する関心が高まるにつれてその重要性が増してきた。しかし、頻度の低い現象を統計的に評価するという手法上の難しさのほか、非正常性 (長期変動) の扱いやデータの均質性の問題など、解決すべき課題は多い。本セッションでは、極端現象の頻度や長期変動の実態のほか、統計手法に関する技術的問題や利用者側から見た情報の望ましいあり方など、アプローチや研究のあり方についても議論したい。また、利用するデータの確保やその品質についての問題、近年発展の著しい気候モデルを使った極端現象の評価に関する発表も歓迎する。

**世話人:** 藤部文昭 (気象研究所)、松本 淳 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科 / 海洋研究開発機構地球環境観測研究センター)、沖 大幹 (東京大学生産技術研究所)、山崎信雄 (気象大学校)

### 惑星大気の新しい観測と理論

**日時:** 大会第3日 (11月21日) 09:15~11:30

**場所:** D会場

**趣旨:** 惑星大気に関する力学的研究は地球大気的气象力学を諸惑星に適用する形で発展してきたが、観測データの絶対的不足のため、これまでに提出された種々の理論の妥当性を観測事実との比較によって検討するという作業は、これまであまりされてこなかった。近年、惑星大気に対する国

内外での関心の高まりから、多くの新しい観測事実が蓄積されつつあり、理論と観測の両面から相互の現状を検討することが喫緊の課題となっている。本セッションでは、惑星大気に関する最近の観測的・理論的研究を対照すると同時に、今後の惑星探査・惑星大気観測の展望もあわせて議論したい。

**世話人:** 高木征弘 (東京大学大学院理学系研究科)、今村 剛 (宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部)

### iLEAPS (the Integrated Land Ecosystem-Atmosphere Processes Study)

**日時:** 大会第3日 (11月21日) 13:30~17:00

**場所:** C会場

**趣旨:** 地球圏-生物圏国際共同研究計画 (IGBP) の第II期では、第I期における大気や水循環に関するコアプロジェクトを再編する形で、陸域-大気間のインターフェイスの過程を課題とする、統合陸域生態系-大気プロセス研究計画 (iLEAPS: the Integrated Land Ecosystem-Atmosphere Processes Study) がコアプロジェクトとして組織された。iLEAPSの目的は、陸域生態系と大気間の物質とエネルギーの移動と変換に関する物理、化学、生物過程の相互作用を解明することにある。気象学会の中でも関連する多くの研究が存在するが、現状では必ずしもそれらの間の連携や情報交換がうまくなされていない。本スペシャル・セッションでは、上記の目的に関連する発表を一堂に会することにより、今後の日本国内での連携を深め、この分野における日本の国際的プレゼンスを高めることにつなげたい。

**世話人:** 近藤裕昭 (産業技術総合研究所)、小池 真 (東京大学大学院理学系研究科)、近藤 豊 (東京大学先端科学技術研究センター)、鈴木力英 (海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター)、林健太郎 (農業環境技術研究所)、檜山哲哉 (名古屋大学地球水循環研究センター)、松枝秀和 (気象研究所)、山崎 剛 (東北大学大学院理学研究科)、吉田尚弘 (東京工業大学大学院総合理工学研究科)

### 産業と気象Ⅱ ~気象情報・技術の産業への寄与を考える~

**日時:** 大会第3日 (11月21日) 13:30~17:00

**場所:** D会場

**趣旨:** 気象 (気候) が産業に及ぼす影響は大きく、気象 (気候) の調査・研究成果は、従来から、多くの産業に活用されてきた。しかし、近年、異常な気象 (気候) 状態が頻発するようになり、地球温暖化問題、環境問題などと相俟って、社会の対応は複雑化してきている。その一方で、気象 (気候) の観測・予測・情報通信技術が大きく進展するとともに新たな知見も得られ、そうした事態への対応策を幅広く提案できる技術基盤も整ってきている。こうした背景の下、このセッションでは、昨年に引き続き、次の観点での発表を募り、産業振興の資を得るとともに実学としての気象研究の課題を涉猟する場としたい。①気象 (気候) が産業に深刻な影響を与えた事例の気象学的分析など、②産業現場の気象 (気候) ニーズ (気象 (気候) の影響と深刻度、気象情報・技術の利用目的など)、③気象 (気候) の情報・技術等の、利用成功事例・失敗事例など、④提供可能な気象 (気候) 情報・技術 (有効な従来情報・技術、最近提供可能となった情報・技術、近い将来提供可能となる情報・技術)。講演内容は、上記①~④のほか、他の複

合した内容や研究の中間報告でもよいので、多数の発表をお願いしたい。

世話人：岩崎俊樹（東北大学大学院理学研究科）、小田嶋孝一（仙台管区气象台）、菅野洋光（東北農業研究センター）、岩田 修、白石晶二（日本気象予報士会）

## 研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

### 第31回メソ気象研究会

日時：2008年11月18日（火）（大会前日）13:30～17:30  
場所：コラッセふくしま 多目的ホールA（JR福島駅西口複合施設）福島県福島市三河南町1番20号  
TEL：024-525-3910 URL：http://www.corasse.jp/

テーマ：「突風」

コッピナー：渡邊 明（福島大学共生システム理工学類）・楠 研一（気象研究所）

内容：平成18年9月の宮崎県延岡市、11月の北海道佐呂間町など、近年、竜巻等の突風による大きな災害が起きています。それをうけて最近、突風に関する調査や突風の早期探知に関するプロジェクトが実施されています。また気象庁では3月から竜巻注意情報を発表するようになりました。そこで今回のメソ気象研究会では、突風をもたらすような局地風とそれによる災害に焦点を当てました。これまで得られた知見をまとめるとともに、突風防災のため今後どのような技術が期待されるのか、それにより減災はどこまで可能であるのかなどをみんなで議論します。前半では突風現象の事例研究、後半では突風災害の監視・予測手法について最近の取り組みについて講演が行われます。多くの方々のご参加と活発な議論をお願いします。

プログラム【1人20分程度】：司会 楠 研一（気象研）

主催地からの歓迎メッセージと趣旨説明 渡邊 明（福島大）

#### 1. 基調講演

突風現象の理解と防災 新野 宏（東大）

#### 2. 様々な突風現象の研究

竜巻・ダウンバーストの観測 小林文明（防衛大）

高解像度シミュレーションによる強風の時空間変動の解析と突風の診断 竹見哲也（京大）

竜巻の実験的シミュレーション 佐々浩司（高知大）

寒冷前線に伴うガストフロントによる突風 渡邊 明（福島大）

北陸小松空港付近で観測された突風災害について

道本光一郎（防衛大）・宇田英史（航空自衛隊）

2006年台風第13号に伴う延岡竜巻の数値シミュレーション 益子渉（気象研）

#### 3. 防災/減災にむけた最近の取り組み

気象庁の取り組み：竜巻注意情報 気象庁（海老原 智）

鉄道における取り組みⅠ突風探知：

(a) 突風探知プロジェクトの紹介 楠 研一（気象研）

(b) 事例解析 猪上華子（気象研）

鉄道における取り組みⅡ予測：気象レーダの観測値を用いた冬期の寒冷前線に伴う突風の予測について 加藤 亘（JR東日本防災研）

道路交通における取り組み：吹雪による視程悪化の予

測実験と観測 佐藤 威（防災科研）

#### 4. 総合討論

世話人：坪木和久（名大地球水循環）、加藤輝之（気象研）、小倉義光（東大海洋研）

連絡先：楠 研一（気象研）

E-mail：kkusunok@mri-jma.go.jp

### 温暖化影響評価のためのダウンスケーリングに関する研究会

日時：2008年11月18日（火）（大会前日）13:30～19:30

場所：仙台国際センター 小会議室6

テーマ：ダイナミカルダウンスケーリングと統計的ダウンスケーリング

内容：温暖化予測におけるダウンスケーリング研究は、全球大気海洋結合モデルによる気候予測結果と詳細化しつつある影響評価研究の間に橋を架ける研究であり、社会的な関心が増大しつつある研究分野です。これまでは、どちらかというと個別の全球モデルに直結したダイナミカルダウンスケーリング、あるいは個別ユーザーの目的に特化した統計的ダウンスケーリングとしてそれぞれ独自に研究が進められ、相互交流の機会は小さかったように見受けられます。今回はこのテーマに取り組んでいらっしゃる研究者の皆様から話題提供をいただき、情報交流をはかりたいと考えます。

連絡先：高藪 出（気象研）

E-mail：takayabu@mri-jma.go.jp

### CMIP3マルチ気候モデル比較に関する研究会

日時：2008年11月18日（火）（大会前日）13:30～19:30

場所：仙台国際センター 小会議室1

テーマ：大気・海洋現象の再現性のメトリックおよび温暖化予測研究への利用について

内容：全球の気候変化に伴い、大気および海洋の諸現象がいかに変化するかを具体的に把握することは、気候変化が人間社会に及ぼす影響を予測するために重要です。今回の研究会では、IPCC AR4に利用されたCMIP3マルチ気候モデルにおける大気・海洋の諸現象の現在気候再現性を評価する基準、およびその温暖化予測研究への利用方法を議論します。また、特にアジア域気候全体の再現性評価という視点を含め、現象間相互関係について検討します。研究者の皆様から話題提供をいただき、情報交流をはかりたいと考えます。

連絡先：高藪 縁（東大気候システム）

E-mail：yukari@ccsr.u-tokyo.ac.jp

## オゾン研究連絡会・極域寒冷域研究連絡会合同研究会

日時：2008年11月19日（水）（大会第一日）18:15～2時間程度

場所：仙台国際センター 大会議室「萩」（大会B会場）

話題：オゾンホール鉛直構造と最近の話題

1. オゾンシンポジウム報告 中根英昭（環境研）
2. オゾンホール鉛直構造と季節変化
  - ・南極昭和基地におけるFTIR観測とオゾン・エアロゾルゾンデ観測 中島英彰（環境研）
  - ・粒跡線解析を利用した南極オゾンホール内オゾン層状構造の研究 富川喜弘（極地研）

今回は、オゾン研究連絡会、及び極域・寒冷域研究連絡会が合同で、オゾンホールを中心に話題提供を行います。オゾンホールは発見から20年以上が経過し、人間活動が地球環境に影響を及ぼした問題として社会的な関心を集めてきました。この現象は大気化学と大気力学の両面的な考察を通して理解され、社会的な対策がとられるまでになりました。一方で、最近になってCIOOCIの光解離に関連したメカニズムの見直しの議論が持ち上がった、オゾンホールの発生・解消時期に現れる細かい層状構造の観測や解析ができるようになってきました。そこで、合同研究連絡会の前半では、2008年6月30日～7月5日に行われた国際オゾンシンポジウムで話題になったテーマについて、概要を報告していただきます。後半では、南極昭和基地でのFTIR及びエアロゾルゾンデによる観測結果と、数値計算を使った大気循環の解析とから、3次元的なオゾン分布・輸送について議論したいと思います。今回の合同開催を、分野の垣根を越えて、多数の研究者による幅広い議論と交流の場を提供する機会にしたいと考えています。

世話人：[オゾン研究連絡会] 笠井康子（NICT）、川上修司（JAXA/EORC）、河本 望（RESTEC）、高島久洋（FRCGC）、永島達也（環境研）、村田 功（東北大院環境科学）  
[極域寒冷域研究連絡会] 山崎孝治（北大院地球環境）、阿部彩子（東大気候システム）、猪上 淳（IORGC）、浮田甚郎（新潟大）、齋藤冬樹（FRCGC）、佐藤 薫（東大院理）、高田久美子（FRCGC）、高谷康太郎（FRCGC）、中村 尚（東大院理）、平沢尚彦（極地研）、本田明治（FRCGC）

連絡先：平沢尚彦（極地研）

TEL：03-3962-4862, FAX：03-3962-5704,

E-mail：hira.n@nipr.ac.jp

## 第5回統合的陸域圏研究連絡会

日時：2008年11月19日（水）（大会第一日）18:15～20:15

場所：仙台国際センター 中会議室「白樺1」（大会C会場）

内容：「統合的陸域圏研究連絡会」においては、陸面を中心とする大気境界層から土壌内に渡る陸域圏を研究の主な対象とし、そこにおける物理的、生物的諸過程の理解に向けた、広い視野に立った研究のための情報交換、陸域圏を対象とした基礎的なメカニズムの理解と、他の圏との広域

的・長期的相互作用システムの解明、直接観測、間接観測、およびモデリングの融合、空間的・時間的スケール間ギャップの問題の解決への方向性の探求、正確な現状の認識と、実質的に意味のある手法の開発に向けた努力、およびそれらのための研究協力関係の構築を目的としています。今回は4名の招待講演者による講演を中心に研究会を開催いたします。

講演者および講演題目：

高田久美子（FRCGC）「産業革命以前(1700～1850年)の耕地化がアジアモンスーンに及ぼした影響」

真野裕三（気象研）・橋本 徹・奥山 新（気象衛星センター）「気象衛星センターの陸域エーロゾルプロダクトについて」

梅澤 拓（東北大）「大気メタンの同位体観測によるアラスカ域のメタン放出源の推定」

山崎 剛（東北大）「陸面過程モデルを用いた森林・凍土に関する研究」

世話人：馬淵和雄（気象研）、大谷義一（森林総研）、青木輝夫（気象研）、奈佐原（西田）顕郎（筑波大）、伊藤昭彦（環境研）、佐藤 永（FRCGC）、大石龍太（東大気候システム）

代表連絡先：馬淵和雄（気象研）

TEL：029-853-8732, FAX：029-855-7240,

E-mail：kmabuchi@mri-jma.go.jp

## 大気サイエンスカフェ「かだっぺや」

日時：2008年11月21日（金）（大会第三日）18:00～20:30

場所：仙台国際センター 中会議室「白樺2」（大会D会場）

副題：「天気を知って家庭や地域をもっと元気に！」

内容：「かだっぺや」とは東北地方の方言で「語り合おう」という意味です。生活と気象、産業と気象とは、切っても切り離せません。気象に携わる者として地域とどう結びついていくのがよいのか。この「大気サイエンスカフェ」では、前段で、様々なバックグラウンドを持つ気象研究者や気象予報士が、各々の思いを話題として提供します。後段では、前段の話題提供を受けて、会場にご参集の皆様とのやりとりを行い、その中から気象をとおして家庭や地域をもっと元気にするアイデアやヒントが生まれてくることを期待したいと思います。気象研究者は何を研究すればよいのか、気象予報士はどう立ち回ればよいのか。大会最終日の最後のひととき、缶コーヒーやペットボトルを片手に、自由気ままな雰囲気の中でかだっぺや。皆様のお気軽なご参加をお待ちしております（空き缶やペットボトルは、それぞれお持ち帰りをお願いいたします。）

主催：日本気象予報士会東北支部

世話人：小田嶋孝一（仙台管区气象台）、小川栄造（予報士会東北支部）、関 隆則・白石晶二（予報士会）

連絡先：小川栄造（予報士会東北支部）

TEL・FAX：0223-23-3702

E-mail：eizobach@ta2.so-net.ne.jp

## 2009年度春季大会の予告

2009年度春季大会は、2009年5月28日（木）～31日（日）につくば国際会議場（エポカルつくば）で開催される予定です。大会告示は「天気」12月号に掲載予定です。なお、春季大会の講演申し込み締め切りは2009年2月頃となる予定です。

## 大会第1日 [ 11月19日 (水) ] 9:30~12:30 口頭発表

## A 会場

## 気候システム I

座長 : 野田 彰 (FRCGC)

- A101 樋田 敦 CO<sub>2</sub>温暖化説は間違っている (3) [OHP使用予定]
- A102 中野 満寿男 (AESTO) 水平解像度5km非静力学モデルによる領域温暖化予測実験:降水と気温の再現と変化特性
- A103 金田 幸恵 (AESTO/気象研) 水平解像度5km/1km非静力学モデルによる領域温暖化予測実験 - 全球大気モデル実験を境界値に用いた予備実験:温暖化による大雨現象の変質
- A104 村上 裕之 (AESTO/気象研) 60km格子全球大気モデルによる将来気候実験で再現された熱帯低気圧発生数のSSTと初期値依存性について
- A105 楠 昌司 (気象研) 60km格子全球大気モデルのアンサンブル実験による梅雨の変化
- A106 水田 亮 (AESTO) 高解像度大気モデルでの北半球冬季の低気圧活動の将来変化
- A107 松枝 未遠 (AESTO/気象研) 北半球冬季におけるブロッキング現象の将来変化の不確実性について -60km格子全球大気モデルによるアンサンブル実験-
- A108 川瀬 宏明 (FRCGC) CMIP3マルチモデルアンサンブルを用いた疑似温暖化ダウンスケール-梅雨降水帯の将来予測の不確実性の評価-
- A109 小坂 優 (東大院理) CMIP3マルチモデルにおける夏季北西太平洋循環場の再現性と将来変化
- A110 安田 珠幾 (気象研) WCRP CMIP3マルチモデルデータにおける21世紀後半の熱帯太平洋表層貯熱量変動
- A111 末吉 雅和 (気象研) WCRP CMIP3 マルチモデルデータによる温暖化時の海洋における変形半径
- A112 足立 恭将 (気象研) CMIP3結合モデルの20世紀後半の北極点付近の海氷厚
- A113 荒川 隆 (RIST) 21世紀気候変動予測革新プログラムにおけるカップラー開発 (第2報)
- A114 横畠 徳太 (環境研) 全球大循環モデルによる物理摂動アンサンブルの比較
- A115 阿部 学 (環境研) パーフェクトモデルテストによる気候変化予測と現在気候再現性の関係の評価とその応用
- A116 後藤 慎司 (名大院環境) 放射平衡灰色大気における透明度変化に対する気温応答:対流圏と成層圏の差異
- A117 釜江 陽一 (筑波大院生命環境) CO<sub>2</sub>倍増による全球降水抑制効果



## 大会第1日 [ 11月19日 (水) ] 9:30~12:30 口頭発表

### B 会場

#### 微量気体・GOSAT

座長：菅原 敏（宮城教育大）

- B101 菅原 敏（宮城教育大）成層圏空気年代の推定に対する重力分離の影響
- B102 中島 英彰（環境研）南極昭和基地における2007年オゾン破壊量とPSCの関係
- B103 森本 真司（極地研）ジュール・トムソン・ミニクーラーを用いた小型成層圏大気クライオサンプラーの開発
- B104 後藤 大輔（東北大院理）仙台市郊外における大気中酸素濃度の高精度連続観測
- B105 桜井 秀宣（三重大院生物資源）海洋における一酸化炭素濃度の季節変動要因の考察
- B106 荻野 慎也（IORGC）ベトナム・ハノイにおけるオゾン変動
- B107 入江 仁士（FRCGC）沖縄辺戸岬におけるMAX-DOAS法による多成分同時観測
- B108 伊藤 春奈（奈良女子大理）関東平野におけるGOME観測による対流圏NO<sub>2</sub>と大気環境常時監視測定による地表NO<sub>2</sub>の比較
- B109 柴崎 登紀子（奈良女子大理）OMIで観測された中央中国における対流圏NO<sub>2</sub>の時空間分布

座長：齋藤尚子（東大気候システム）

- B110 シュトゲンス ニック（東大気候システム）An aerosol assimilation system for GOSAT
- B111 内野 修（環境研）GOSATデータに影響する波長1640nmにおけるエアロゾルの光学的厚さ
- B112 吉田 幸生（環境研）GOSAT TANSO-FTS SWIR データ解析で得られる CO<sub>2</sub> 気柱量の誤差評価 ～可能な限り雲を除外し、晴天と近似した場合～
- B113 田中 智章（NIES）航空機搭載短波長赤外フーリエ変換分光計（GOSAT-TSUKUBAモデル）による観測結果について
- B114 川崎 昌博（京大院工）二酸化炭素カラム密度計測装置の開発
- B115 松見 豊（名大STE研）小型気球CO<sub>2</sub>センサの開発
- B116 齋藤 尚子（東大気候システム）GOSAT/TANSO-FTS TIR CO<sub>2</sub>鉛直プロファイル導出アルゴリズムと精度
- B117 古山 祐治（環境研）High resolution simulation of the atmospheric greenhouse gases variability with a coupled Eulerian-Lagrangian transport model

## 大会第1日 [ 11月19日 (水) ] 9:30~12:30 口頭発表

## C 会場

## 大気境界層

座長 : 菅原広史 (防衛大地球海洋)

- C101 佐藤 晋介 (NICT) 400MHz帯WPR/RASSで観測された対流境界層の発達
- C102 伊藤 純至 (東大海洋研) Dust Devilの高解像度ラージ・エディ・シミュレーション
- C103 牛山 朋来 (農環研) 乱流クロージャーモデルによる水稲交雑シミュレーション
- C104 山田 哲二 (YSA) 乱流時間スケールの計算と濃度分布予測への応用
- C105 富田 浩文 (FRCGC) 大気-陸面モデルでの地表面エネルギー収支の解法における問題とその解決策
- C106 杉浦 幸之助 (IORGC) 全球気象データセットを用いた吹雪量分布の広域把握
- C107 大西 将徳 (京大院人間環境) 雲量、気温、露点温度による放射冷却量の推定
- C108 西村 海峰 (弘前大院理工) 冬季の放射冷却による逆転層内の熱と汚染物質の滞留について
- C109 渡邊 明 (福島大理工) 寒冷前線に伴う強風発生メカニズム

座長 : 渡邊 明 (福島大理工)

- C110 小山 健宏 (東大院理) 非静力学モデルを用いた南極カタバ風の力学的研究
- C111 重田 祥範 (岡山大院自然科学) 東京・大阪における街区気象と需要エネルギーの計測 (1) -小型計測機器の開発と観測ネットワークの構築-
- C112 大橋 唯太 (岡山理大総合情報) 東京・大阪における街区気象と需要エネルギーの計測 (2) -街区内実測気温の特徴とその比較-
- C113 亀卦川 幸浩 (明星大理工) 東京・大阪における街区気象と需要エネルギーの計測 (3) -街区内実測気温にみられる人工排熱の影響-
- C114 井原 智彦 (産総研) 東京・大阪における街区気象と需要エネルギーの計測 (4) -街区比湿の実態-
- C115 菅原 広史 (防衛大) 都市内河川によるヒートアイランド緩和効果
- C116 高根 雄也 (筑波大院生命環境) 2007年8月16日に発生した熊谷猛暑の形成メカニズム-WRFモデルを用いた熱収支解析-
- C117 酒井 敏 (京大人環) 樹木のフラクタル次元と地表面環境

## 大会第1日 [ 11月19日 (水) ] 9:30~12:30 口頭発表

### D 会場

#### 気象予報

座長 : 齊藤和雄 (気象研)

- D101 石橋 俊之 (気象庁数値予報) 変分法バイアス補正の性質
- D102 石橋 俊之 (気象庁数値予報) 線型性を保持した解析インクリメントの解析
- D103 小野田 浩克 (気象庁数値予報) 気象庁全球モデルにおける下層雲表現の改良の試み
- D104 齊藤 和雄 (気象研) WWRP北京オリンピック2008予報実証/研究開発プロジェクト (2008年本実験、概要)
- D105 國井 勝 (気象研) WWRP北京オリンピック2008予報実証/研究開発プロジェクト (2008年本実験、メソ解析の適用と降水同化)
- D106 原 昌弘 (気象研) WWRP北京オリンピック2008予報実証/研究開発プロジェクト (全球ターゲットSVによる初期値・境界値摂動の作成)
- D107 中村 誠臣 (気象研) 関東域での夏季不安定降水のNHMによる再現性の評価
- D108 長澤 亮二 (気象庁数値予報) 気象庁非静力学モデルの放射過程の高度化
- D109 山崎 弘恵 (京大院理) z座標系超高解像度メソ気象モデルの開発

#### 台風

座長 : 北島尚子 (気象研)

- D110 上野 充 (気象研) 台風検証データとしての気象庁メソ解析利用の試み
- D111 山岬 正紀 (FRCGC) メソ対流解像・非静力学モデルを用いた台風の発生過程の数値実験 (20km格子のケース)
- D112 吉岡 真由美 (名大地球水循環) 全球静力モデルと雲解像非静力モデルにおける台風発生過程の比較
- D113 豊嶋 紘一 (名大院環境) 熱帯低気圧の発生メカニズムに関する観測的研究
- D114 坪木 和久 (名大地球水循環) 雲解像モデルのタイリング領域法とその台風シミュレーションへの応用
- D115 Akter Nasreen (名大地球水循環) Simulation of Cyclone Sidr and Analysis of the Rainband Formation Using CReSS
- D116 佐野 哲也 (名大地球水循環) 発達する台風に伴う降水帯を構成する対流性降水域の構造
- D117 北島 尚子 (気象研) 日本本土に上陸した台風の地上風分布と三次元構造
- D118 釜堀 弘隆 (気象研) 再解析に表現される台風のコンポジット解析 (その4) ---台風場の降水量の年々変動とそのGPCP-1DDとの比較---

## 大会第1日 [ 11月19日 (水) ] 13:30~17:00 口頭発表

### A 会場

#### スペシャル・セッション「GAMEからMAHASRIへ～モンスーン研究の進展と今後～」

座長：里村雄彦（京大院理）

- \*A151 安成 哲三（名大地球水循環）今、アジアモンスーンで何が問題か？
- \*A152 上野 健一（筑波大院生命環境）CEOP-HE・AEGISに向けたチベット・ヒマラヤ研究の動向
- \*A153 石川 裕彦（京大防災研）チベット高原上の地表面熱収支（現地観測と衛星解析）
- \*A154 篠田 太郎（名大地球水循環）中国華中域における大気境界層・降水システム研究の進展 ～ GAME/HUBEX IOP からの10年 ～
- \*A155 林 泰一（京大防災研）インド亜大陸北東部における気象観測のこれまでと将来展望

座長：樋口篤志（千葉大CEReS）

- A156 松本 淳（首都大都市環境/IOGRC）MAHASRIとAMY
- A157 立花 義裕（三重大/JAMSTEC）アムール川流量の変動と大気水蒸気フラックス、アジアモンスーンとの関連
- A158 岩崎 博之（群馬大教育）乾燥域における土壌水分量が積乱雲活動に与える影響 --- AMSR-E土壌水分量の気象学への応用 ---
- A159 遠藤 伸彦（IOGRC）モンゴル国・トーレ川上流部における降水特性
- A160 加藤 内蔵進（岡山大教育理科）盛夏から秋雨への移行期における九州北西部の降水について（大規模場の季節進行や台風の位置づけに注目して）
- A161 陳 桂興（東北大院理）Diurnal rainfall over Southeast China and its relation with the diurnal variation of monsoon
- A162 山本 恵子（京大院理）ラオスの気象レーダーを用いたビエンチャン近郊の降水特性について－ 続報－
- A163 増田 耕一（FRCGC）インドネシア西スマトラにみる降水日変化の地理的分布
- A164 久保田 尚之（IOGRC）フィリピンにおける過去100年間の台風変動
- A165 山中 大学（IOGRC-JAMSTEC/神大理）海岸線の長さが決める赤道域の雨量

座長：松本 淳（首都大都市環境/IOGRC） / 里村雄彦（京大院理）

#### 総合討論

※\* の講演は持ち時間17分、その他の講演の持ち時間は10分です。

## 大会第1日 [ 11月19日 (水) ] 13:30~17:00 口頭発表

### B 会場

#### 降水システム I

座長 : 三隅良平 (防災科研)

- B151 折口 征二 (九大院理) メソスケール下層ジェット形成・強化・維持メカニズム
- B152 加藤 輝之 (気象研) 2008年梅雨明け後の豪雨・熱雷の発生要因
- B153 上伏 仁志 (名大地球水循環) 雲解像モデルによって再現された福井豪雨の形成プロセス
- B154 前坂 剛 (防災科研) 2008年4月18日に南関東で強風をもたらした降水システムの構造について
- B155 増田 有俊 (気象協会) 強風ナウキャスト手法の開発と検証
- B156 三隅 良平 (防災科研) 平成20年8月5日豊島区付近の大雨: X-NETによる観測
- B157 真木 雅之 (防災科研) 観測仰角を考慮したXバンド偏波レーダ降雨強度推定式
- B158 清野 直子 (気象研) 関東における強雨事例のシミュレーションー都市キャノピースキーム導入のインパクトー
- B159 助川 剛亜 (航空自衛隊航空気象群) 2003年8月5日、東京都心に孤立して発生した降水系に関する数値実験
- B160 三上 彩 (京大生存研) 443MHzウィンドプロファイラ・RASSを用いた沖縄亜熱帯域における孤立積乱雲に関する研究

座長 : 中里真久 (気象研)

- B161 山本 勝 (九大応力研) 2005年12月下旬の豪雪シミュレーションーOGCMデータ同化SSTが期間平均場に与える影響ー
- B162 前島 康光 (名大地球水循環) 冬季日本海に発生するメソβスケール擾乱の形成過程-2005年1月31日の事例の再現実験-
- B163 小林 文明 (防大地球海洋) 庄内平野における降雪雲に伴う風の特徴
- B164 楠 研一 (気象研) 庄内平野で観測された冬季突風と気象じょう乱についてー概要ー
- B165 楠 研一 (気象研) 2008年8月14日 庄内平野付近で観測されたマイソサイクロン
- B166 猪上 華子 (気象研) 2007年12月2日にドップラーレーダーで観測されたmisocycloneの構造
- B167 竹見 哲也 (京大防災研) 冬季気象擾乱に伴う地上近傍での強風変動の高解像度モデル解析
- B168 鈴木 修 (気象研) 2008年3月25日に相模湾で発生した海上竜巻ースーパーセルライクストームの解析ー
- B169 用貝 敏郎 (気象庁予報) 竜巻等発生のパテンシャル予測可能性ー2006年3月~2008年6月までの5km-MSM (JMANHM) を用いてー
- B170 中里 真久 (気象研) 竜巻を伴う鉛直渦の引き伸ばしメカニズム
- B171 佐野 亜都子 (岡山理科大総合情報) 大阪湾から京都盆地と奈良盆地に侵入する海風について

## 大会第1日 [ 11月19日 (水) ] 13:30~17:00 口頭発表

### C 会場

#### 気象教育

座長：勝俣昌己 (IORGC)

- C151 木村 洋一 (気象協会) Web2.0 時代の気象ポータルサイト「tenki.jp」リニューアル概要と事業構想  
 C152 加藤 内蔵進 (岡山大教育理科) 気候学的な梅雨降水の東西差に関連した附属中での乗り入れ授業の報告

#### 熱帯大気

座長：勝俣昌己 (IORGC)

- C153 久保田 尚之 (IORGC) 熱帯西部太平洋のモンスーンオンセットをもたらす擾乱とモンスーン域の年々変動  
 C154 森 修一 (IORGC) スマトラ島沿岸域における対流系の日周期移動と海上再発達について－HARIMAU2006観測結果第2報－  
 C155 植松 明久 (NICT) CloudSatと赤道大気レーダーで観測された熱帯陸域における対流雲の解析  
 C156 妻鹿 友昭 (京大生存圏) 赤道大気レーダーによる対流雲内の鉛直流観測  
 C157 中本 光紀 (神戸大院理) 海洋大陸および熱帯西太平洋における対流活動の様々な周期変動の地理的分布  
 C158 Rezza Muhammad (名大院環境) An observational study on the relationship between cloud clusters and intra-seasonal oscillations over the tropical Western Pacific  
 C159 耿 驃 (IORGC) 「みらい」MR08-02航海で観測された西部熱帯太平洋海域における降水の特徴

座長：西 憲敬 (京大院理)

- C160 寺尾 徹 (香川大教育) インド亜大陸北東部におけるプレモンスーン・モンスーン期の降水強度と降水量の日変化  
 C161 山根 悠介 (京大次世代ユニット) バングラデシュのプレモンスーン期シビアローカルストーム発生日における南アジア域での環境パラメータの空間分布について  
 C162 津島 俊介 (京大院理) バングラデシュとその周辺における雲システムの特徴  
 C163 勝俣 昌己 (IORGC) MISMO期間の熱・水収支解析結果と地上・衛星観測値との比較解析  
 C164 安永 数明 (IORGC) MISMO期間前後にインド洋でみられた3回の雲活動の活発化事例  
 C165 勝俣 昌己 (IORGC) MISMOで観測されたインド洋における季節内振動の対流活発化過程  
 C166 山田 広幸 (IORGC) インド洋上のスーパークラウドクラスター内で観測された東へ伝播する降水システムの構造  
 C167 高橋 千陽 (IORGC) 赤道インド洋域におけるMJOと赤道ロスビー波動に伴う対流発達  
 C168 西 憲敬 (京大院理) 西インド洋上部対流圏定在循環の鉛直微細構造解析  
 C169 高藪 縁 (東大気候システム) TRMM SLHデータを用いた熱帯域の積雲対流活動に対する大規模場効果の解析  
 C170 谷口 博 (FRCGC) 全球非静力学モデルを用いた2006年12月実験における MJO 再現性評価  
 C171 那須野 智江 (FRCGC) 全球非静力学水惑星数値実験における赤道平均東西風

## 大会第1日 [ 11月19日 (水) ] 13:30~17:00 口頭発表

### D 会場

#### 大気力学

座長：板野稔久（防衛大地球海洋）

- D151 横嶋 悟（東海大物理）閉ループ内熱対流数値実験 ～2種類のカオスの反転と自発的レジームシフト～
- D152 三村 和男（東海大教養学）閉ループ内熱対流に対するスペクトル・モデルの構築
- D153 乙部 直人（福大理）水平閉ループに生じる水平流
- D154 板野 稔久（防衛大地球海洋）対称不安定における惑星渦度の水平成分の影響
- D155 西澤 誠也（京大院理）2次元減衰性乱流のラグランジュ的考察
- D156 新野 宏（東大海洋研）強い渦の流速分布-バスタブ渦の2つのレジームについて-
- D157 野田 彰（FRCGC）プリミティブ方程式系における準静力学近似
- D158 松島 和宏（東海大教養学）半球規模回転水槽実験で観察される西進シグナルの惑星波としての解釈
- D159 黒田 剛史（JAXA宇宙科学研究本部）火星大気の半年振動とそのメカニズム

#### 中層大気

座長：河谷芳雄（FRCGC）

- D160 児玉 安正（弘前大院理工）上層雲で可視化された対流圏界面中間規模波動
- D161 宮崎 和幸（FRCGC）高分解能大気大循環モデルを用いた中高緯度対流圏界領域の解析
- D162 河谷 芳雄（FRCGC）上部対流圏-下部成層圏に於ける赤道域重力波の全球分布、励起源と伝播特性の解析～COSMIC衛星観測とAGCMによる考察～
- D163 館野 聡（東大院理）南半球極域重力波の発生源の研究
- D164 渡辺 真吾（FRCGC）中間圏・下部熱圏における西進一日周期潮汐波と重力波の相互作用  
高解像度大気大循環モデルを用いた研究
- D165 井上 誠（東大気候システム）北半球秋季から冬季にかけての成層圏QBOと対流圏循環との関係
- D166 直江 寛明（気象研）北半球冬季にQBOが中高緯度へ与える力学的な影響
- D167 西井 和晃（東大院理）CMIP3マルチ気候モデルにおける成層圏極渦のバイアスと対流圏循環の再現性
- D168 志賀 友哉（九大院理）成層圏突然昇温に伴う中間圏界面付近での大気微量成分変動について
- D169 秋吉 英治（環境研）1980-2004年の南極渦崩壊時期とオゾンホールとの関係
- D170 山下 陽介（東大気候システム）化学気候モデルを用いた赤道成層圏太陽変動と火山変動の影響評価
- D171 木下 武也（東大院理）3次元残差循環を用いた成層圏オゾンに関する研究

## 大会第2日 [ 11月20日 (木) ] 9:15~12:00 口頭発表

## A 会場

## 気候システムⅡ

座長：石原幸司（気象研）

- A201 菅野 洋光（東北農研センター）インドネシアMaluku県における水稲収量変動と可降水量との関係
- A202 紺野 祥平（首都大都市環境）埼玉県鳩山町における冬季夜間の気温逆転層について
- A203 上口 賢治（気象研）日本における高解像度日降水量グリッドデータ（APHRO\_JP）の作成について
- A204 藤部 文昭（気象研）アメダス地点における気温の経年変化率と風速の経年変化率の関係
- A205 藤部 文昭（気象研）東京都心における暖候期午後の短時間降水の増加傾向 —118年間の毎時資料による解析—
- A206 力石 國男（弘前大理工）地域・季節・時刻・気象条件の違いによる温暖化傾向の違い
- A207 石坂 雅昭（防災科研）積雪・気温・降水量間の関係を反映する日本海側温暖積雪地域の気候変化に対する応答
- A208 原 政之（FRCGC）領域気候モデルを用いた80年代と90年代の冬季河川流量の変動評価
- A209 田中 博（筑波大計算科学）北極振動指数の再現性に関する数値実験
- A210 小寺 邦彦（名大STE）近年におけるENSOテレコネクションの変化
- A211 尾瀬 智昭（気象研）夏季北西太平洋降水特性の気候モデルによる再現性（2）
- A212 永野 良紀（日大院地球情報）熱帯の対流活動と日本上層の高気圧との関係
- A213 山浦 剛（熊大院自然）6月の梅雨前線活動における経年変動特性の時空間差異
- A214 児玉 安正（弘前大院理工）SACZの形成に及ぼすブラジル高原の影響
- A215 二宮 洸三（FRCGC）AGCMにおける梅雨前線小低気圧に伴う強雨分布：観測との差違 [OHP使用予定]
- A216 村上 茂教（FRCGC）氷期気候系のエネルギー論・その1



## 大会第2日 [ 11月20日 (木) ] 9:15~12:00 口頭発表

### B 会場

#### エアロゾル

座長：青木一真（富山大院理工）

- B201 梶野 瑞王（東大先端研）エアロゾルの化学組成，粒径分布，混合状態，形状を考慮した東アジア領域規模化学輸送モデルの開発と評価
- B202 青木 一真（富山大院理工学）立山・室堂平の積雪断面調査における2007年秋～2008年春の黄砂現象
- B203 石塚 正秀（香川大工）降雨後のクラスト形成時の地表面土壌粒径分布の変化と飛散ダスト濃度との関係—JADE-IOP観測結果—
- B204 日比野 真弓（奈良女子大）リモートセンシングデータと直接サンプリングデータを用いた、黄砂観測時におけるエアロゾルの特徴
- B205 弓本 桂也（九大応力研）ライダー搭載衛星CALIPSOデータと4次元変分法を用いた黄砂発生量の逆推定
- B206 鶴田 治雄（東大気候システム）長崎県福江島と沖縄県辺戸岬における春期の大気エアロゾルの化学組成
- B207 安成 哲平（地球研）北部北太平洋域の過去30年のダスト変動：2001年4月の大規模黄砂の降下量は大きい
- B208 酒井 哲（気象研）ライダーと直接サンプリングによるエアロゾル比較観測実験
- B209 西澤 智明（環境研）次世代大気モニタリングネットワーク用ライダーの開発
- B210 Pandithurai Govinda (CEReS) An observational estimate of the aerosol indirect effect using ground-based remote sensing
- B211 内山 明博（気象研）福岡での2008年春季エアロゾル光学特性集中観測
- B212 Khatri Pradeep (CEReS) A method to screen cloud affected data for sky radiometer data analyses
- B213 高島 久洋（FRCGC）MAX-DOAS 水蒸気観測データをもちいた雲判別
- B214 大島 長（東大先端研）ブラックカーボンの被覆過程を表現したパラメタリゼーションの開発
- B215 五藤 大輔（東大気候システム）三次元全球エアロゾル輸送モデルによる海洋性有機炭素エアロゾル：1.清浄海洋大気（南緯40-60度）領域での影響
- B216 竹村 俊彦（九大応力研）21世紀のエアロゾルの分布と放射強制力の予測

## 大会第2日 [ 11月20日 (木) ] 9:15~12:00 口頭発表

## C 会場

## 相互作用

座長 : 小木雅世 (FRCGC)

- C201 佐藤 尚毅 (IORGC) IPCC AR4気候モデルで再現されたMJOに伴う大気海洋結合
- C202 今田 由紀子 (東大気候システム) 大気海洋結合モデルに見られる熱帯不安定波に対する大気のパードバック
- C203 清木 亜矢子 (IORGC) 熱帯季節内変動に対する海洋応答とENSO位相
- C204 大庭 雅道 (筑波大) SSTに対する大気非線形な応答がENSOの遷移の非対称性にもたらす役割
- C205 袁 潮霞 (東大院理) Influences of IOD and ENSO on the Tibetan Snow Cover in Early Winter
- C206 増永 浩彦 (名大地球水循環) 東太平洋double ITCZの発達過程について
- C207 佐藤 栄里子 (千葉大院理) Aqua/AIRSとTRMMを利用した降水効率と環境場との関係
- C208 吉兼 隆生 (FRCGC) 領域気候モデルを用いた森林の梅雨前線形成に与える影響調査

座長 : 佐藤尚毅 (IORGC)

- C209 山本 勝 (九大応力研) 東シナ海上の寒気吹き出しの総観およびメソスケール構造
- C210 山内 明子 (伊豆海洋研) 伊豆半島周辺における層別海水温の変動解析—二重逆転化現象について—
- C211 高玉 孝平 (北大院理) 領域大気モデル中の湾流に対する大気応答のメカニズム
- C212 稲津 将 (北大院理) 北半球冬季の北東アジアにおけるスケール間相互作用研究 (1) 亜総観規模擾乱の効果
- C213 見延 庄士郎 (北大院理) 湾流に対する大気応答の冬季モードと夏季モード
- C214 小木 雅世 (FRCGC/UW) 夏季の北極海の海氷と大気循環の関係
- C215 鈴木 香寿恵 (極地研) 南極昭和基地における対流圏大気鉛直構造
- C216 神代 剛 (京大生存研) 雲タイプの観点からみた海上下層雲量と下部対流圏安定度との関係

## 大会第2日 [ 11月20日 (木) ] 9:15~12:00 口頭発表

### D 会場

#### 観測手法・放射

座長：長澤親生（首都大システム）

- D201 篠田 智仁（京大生存研）周波数干渉計を用いたRASSによる気温観測の高鉛直分解能化
- D202 水谷 文彦（東芝）固体化マルチパラメータレーダの開発
- D203 出世 ゆかり（名大地球水循環）地球水循環観測マルチパラメータレーダの初期観測結果
- D204 山田 芳則（気象大）連続の式または質量フラックス保存の式を束縛条件としてRHIモードデータから鉛直面内の風場を算出する方法
- D205 花房 龍男（英弘）ドップラーライダーWINDCUBEについて
- D206 石井 昌憲（NICT）CO<sub>2</sub>濃度計測用コヒーレント差分吸収ライダーの開発③
- D207 長澤 親生（首都大システム）1.6  $\mu$  m DIALによるCO<sub>2</sub>垂直分布の観測精度の検討
- D208 吉田 良（東北大院理）ライダー搭載観測衛星CALIPSOによる雲粒子のタイプ識別
- D209 萩原 雄一郎（東北大院理）CloudSat/CALIPSO/MODISの複合利用による下層雲物理特性の全球解析
- D210 西尾 正則（鹿大理）大気水蒸気観測のための超小型衛星の開発
- D211 青梨 和正（気象研）衛星搭載マイクロ波放射計輝度温度の前方計算法の改良（その1）
- D212 林 徒南（京大生存研）GPS掩蔽観測による高鉛直分解能プロファイルの導出と検証
- D213 橋本 潤（岐阜大院工）画像解析による雲種類分類の試み
- D214 橋本 潤（岐阜大院工）MM5 とSMARTS2 結合モデルによる日射スペクトル推定
- D215 早坂 忠裕（東北大院理）中国における日射量の長期変動とその要因

## 大会第3日 [ 11月21日 (金) ] 9:15~11:30 口頭発表

## A 会場

スペシャル・セッション「データ同化と予測可能性」I

データ同化手法・システム

座長 : 茂木耕作 (IORGC)

- A301 宮崎 和幸 (FRCGC) 局所アンサンブル変換カルマンフィルタを用いた大気微量成分のデータ同化-完全モデル実験による可能性調査-
- A302 近藤 圭一 (筑波大院生命環境) NICAM-LETKFを用いたデータ同化実験
- A303 小山 博司 (北大環境科学) アンサンブル予報におけるモデル誤差の影響 その2-EnKFを用いて-
- A304 青梨 和正 (気象研) 非静力雲解像モデル物理量とマイクロ波輝度温度のアンサンブル予報誤差共分散: マイクロ波輝度温度の非静力雲解像モデルへ向けて
- A305 常松 展充 (NICT) WRFモデルを用いたObserving Systems Simulation Experimentsによる首都圏の猛暑予測を対象とする観測のフィージビリティ・スタディ
- A306 清水 慎吾 (防災科研) 首都圏Xバンドレーダネットワーク (X-NET)データを利用した風速の三次元変分法同化システムの開発
- A307 川畑 拓矢 (気象研) NHM-4DVARへのincrement法の導入
- A308 國井 勝 (気象研) 気象庁非静力学モデルに対する特異ベクトルの計算 (第5報)

## 大会第3日 [ 11月21日 (金) ] 9:15~11:30 口頭発表

## B 会場

スペシャル・セッション「ミャンマーサイクロン」

座長 : 山田広幸 (IORGC)

概要説明 高薮 縁 (東大気候システム)

- B301 横井 覚 (東大気候システム) ベンガル湾におけるサイクロンの発生環境について
- B302 早崎 将光 (千葉大CEReS) サイクロンNargisの発生・発達期における総観気象場の解析
- B303 柳瀬 亘 (東大気候システム) Nargisと過去のベンガル湾サイクロンの発生過程
- B304 山田 広幸 (IORGC) サイクロンNargis (2008)の経路と発達過程の特異性
- B305 久保田 拓志 (JAXA/EORC) TRMM衛星および全球降水マップ (GSMaP) で観測したサイクロンNargisの降雨の状況
- B306 中澤 哲夫 (気象研) 気象庁週間アンサンブル予報データのNargis予報結果について
- B307 黒田 徹 (気象研) ミャンマーサイクロンNargisの予報実験と高潮シミュレーション
- B308 林 泰一 (京大防災研) 2007年11月15日バングラデシュを襲ったサイクロン"Sidr"

## 大会第3日 [ 11月21日 (金) ] 9:15~11:30 口頭発表

### C 会場

スペシャル・セッション「極端現象の発生頻度と長期変動：統計的アプローチとその課題」

座長：松本 淳（首都大都市環境/IORGC）

- C301 大塚 道子（首都大都市環境）区内観測による日降水量データを用いた関東地方における降水の長期トレンド解析
- C302 立花 義裕（三重大/JAMSTEC）東京の雪の長期変動とユーラシアンパターン
- C303 加藤 輝之（気象研）竜巻をもたらす積乱雲の発生環境場の気候学的変動
- C304 釜堀 弘隆（気象研）中国華南地方の降水量変動と熱帯太平洋海面水温との関係

座長：藤部文昭（気象研）

- C305 水野 量（気象庁観測）任意地点における日降水量の再現期待値推定
- C306 若月 泰孝（FRCGC）統計的ダウンスケーリングによる極端降水の気候変化推定の試み（続報）
- C307 石原 幸司（気象研）地球温暖化に伴う確率降水量変化の都道府県別評価に向けて
- C308 杉本 憲彦（慶応大）高速な台風抽出・危険度評価手法の提案と適用例
- C309 吉村 純（気象研）台風にともなう降水量に関する地球温暖化の影響 — 20km格子全球大気モデルを用いた実験結果

総合討論

## 大会第3日 [ 11月21日 (金) ] 9:15~11:30 口頭発表

### D 会場

#### スペシャル・セッション「惑星大気の新しい観測と理論」

座長：小高正嗣（北大院理）

- D301 今村 剛（JAXA/ISAS）金星気象衛星の現状
- D302 大月 祥子（JAXA/ISAS）地上望遠鏡を用いた金星熱圏酸素分子大気光の観測
- D303 高木 征弘（東大院理）金星大気の放射伝達モデルの開発
- D304 森川 靖大（北大院理）可変性と可読性を考慮した大気大循環モデルの開発: ソースコードの簡潔さを重視したモデル設計
- D305 中川 広務（東北大理）赤外・サブミリ波域による火星大気高分散観測

座長：今村 剛（JAXA/ISAS）

- D306 佐川 英夫（MPS）火星オービターからのサブミリ波観測
- D307 黒田 剛史（JAXA/ISAS）火星大気水循環のシミュレーション
- D308 小高 正嗣（北大理）3次元非静力学モデルによる火星大気対流の数値計算: 2次元モデル計算との比較
- D309 加藤 亮平（九大院理）木星大気大規模渦の数値モデリング
- D310 竹広 真一（京大数理研）上層の安定成層下に閉じ込められた高速回転する球殻内の超臨界熱対流により引き起こされる赤道逆行流

## 大会第3日 [ 11月21日 (金) ] 13:30~17:00 口頭発表

### A 会場

#### スペシャル・セッション「データ同化と予測可能性」II

##### 予測可能性

座長 : 山根省三 (同志社大理工)

- A351 小司 禎教 (気象研) 2008年7月28日のGPSデータ同化実験 (序報)
- A352 瀬古 弘 (気象研) LETKFを用いたB08RDP実験と日本域の豪雨再現実験
- A353 松枝 未遠 (AESTO/MRI) 2005年12月中旬にロッキー山脈上空で発生したブロッキングの予測可能性について
- A354 黒田 友二 (気象研) 成層圏の変動が季節予報に及ぼす影響について
- A355 森 正人 (東大気候システム) 太平洋10年規模変動の感度解析と予測可能性
- A356 望月 崇 (FRCGC) 近未来地球温暖化予測実験-十年スケール自然変動の精度よい予測を目指して-
- A357 近本 喜光 (東大気候システム) 大気海洋結合モデルを用いた1997/98年 El Nino イベントの予測

##### 解析誤差と鋭敏性

座長 : 三好建正 (気象庁数値予報)

- A358 山根 省三 (同志社大) 実験的再解析データALERAの解析誤差分布の特徴について
- A359 猪上 淳 (IORGC) ALERAを用いた北極漂流ブイデータの同化インパクト
- A360 茂木 耕作 (IORGC) ALERAにおけるMISMOゾンデデータの同化インパクト
- A361 榎本 剛 (地球シミュレータ) AFES-LETKFを用いた台風ベストトラックデータの同化
- A362 三好 建正 (気象庁数値予報) 台風Rananim (2004)の進路数値予報の初期値鋭敏性
- A363 小森 拓也 (気象庁数値予報) T-PARCで用いた台風に対する気象庁感度解析システム
- A364 山下 浩史 (気象庁数値予報) 特別観測データを使用した気象庁全球モデルによるインパクト実験の評価 (速報)



## 大会第3日 [ 11月21日 (金) ] 13:30~17:00 口頭発表

### B 会場

#### 降水システムⅡ

座長：佐竹晋輔（気象研）

- B351 村上 正隆（気象研）四国における人工降雨実験観測の概要
- B352 田尻 拓也（気象研）四国・高知における雲のモニタリング観測（2008年）夏季人工降雨実験観測中の大気環境場について
- B353 大野 裕一（NICT）W-bandレーダによるシーディング有効雲のモニター観測（速報）
- B354 中里 真久（気象研）Xバンド及びKaバンドレーダーを用いたシーディング有効雲の観測  
－高知県鏡ダムサイトにおける夏季集中観測速報－
- B355 大東 雄二（三菱電機特機システム）FMCW型Ka-bandレーダの降雨観測例
- B356 折笠 成宏（気象研）ドライアイスシーディングに伴う山岳性降雪雲の微物理構造の変化
- B357 吉田 一全（いであ）山岳性降雪雲のシーディング実験のXバンドレーダによる検証
- B358 小池 克征（いであ）利根川上流域における降雪決定因子の調査と3D非静力学モデルの結果を用いたシーディング判定法の試み
- B359 橋本 明弘（気象研）ヨウ化銀を用いた地上シーディングに関する数値実験
- B360 佐竹 晋輔（気象研）3次元雲シーディングモデルによる液体炭酸を用いた冬季地上シーディング実験の増雪効果
- B361 久芳 奈遠美（FRCGC）暖かい雨に対する凝結核散布の効果に関する数値実験（3）

座長：中村晃三（FRCGC）

- B362 中村 晃三（FRCGC）ビン法雲物理モデルを使った暖かい雨のバルク法モデルの改良
- B363 村上 英世（東和大）人工降雨のための海水の水蒸気化装置の特性について
- B364 吉原 経太郎（豊田理研）紫外光照射による通常空気からの水エアロゾル/水滴生成
- B365 牛山 朋来（農環研）パラオで観測された雨滴粒径分布の季節変動と年々変動
- B366 小林 隆久（気象研）衛星で観測した雲光学的厚さと雲粒サイズに及ぼす降水の影響
- B367 岩波 越（防災科研）Xバンド偏波レーダーによる降水粒子判別（3）－判別手法の暖候期の降水雲への適用－
- B368 Uddin Md. Rafi（名大地球水循環）Development processes of an Arc type system during pre-monsoon in Bangladesh
- B369 李 根玉（釜慶大/防災科研）Effect of high terrain of Jeju Island on precipitation system during summer season in 2006
- B370 奥田 智洋（防衛大地球海洋）霧発生中における急激な視程変動メカニズムについて

## 大会第3日 [ 11月21日 (金) ] 13:30~17:00 口頭発表

### C 会場

#### スペシャル・セッション 「iLEAPS (the Integrated Land Ecosystem-Atmosphere Processes Study)」

座長：三枝信子（環境研）

- C351 八木 一行（農環研）iLEAPS：統合陸域生態系－大気プロセス研究計画の活動概要 [招待講演]
- C352 谷本 浩志（環境研）GOME/SCIAMACHY衛星観測により検出されたシベリア森林火災からの窒素酸化物放出とその影響に関するモデル解析
- C353 大石 龍太（東大気候システム）4倍大気CO<sub>2</sub>時の植生分布変化と施肥効果が大気と炭素収支に及ぼす影響
- C354 鈴木 力英（FRCGC）衛星植生データを使った広域植生と気象変動の研究
- C355 馬淵 和雄（気象研）アジア域熱帯林減少の地域的なエネルギー・炭素収支への影響（II）
- C356 山島 亮二（首都大）歴史的な土地利用の変化が大気場に及ぼした影響
- C357 村上 茂樹（森林総研十日町）樹冠遮断研究の新たな展開－降雨中に大量蒸発が起こるメカニズム－
- C358 米村 正一郎（農環研）冷温帯土壌の水素吸収および二酸化炭素発生量の温度依存性
- C359 石島 健太郎（FRCGC）冷温帯落葉広葉樹林におけるラドン測定を用いた土壌中温室効果気体変動の研究
- C360 松枝 秀和（気象研）接地境界層内の大気ラドン観測による生態系呼吸量の評価
- C361 村山 昌平（産総研）大気中ラドン濃度の観測による複雑地形におけるCO<sub>2</sub>の輸送交換過程の推定
- C362 高橋 善幸（環境研）微気象学的手法による森林群落スケールでの微量ガス交換量の観測
- C363 中田 淳子（岐阜大流域圏）群落微気候モデルMINCERを用いた高山落葉広葉樹林サイトTKYにおける熱フラックスの推定
- C364 近藤 裕昭（産総研）CFD によるフェッチの不十分な森林キャノピー内外の流れとキャノピー上でのスカラーフラックス値の計算

※各講演の持ち時間は14分です。

## 大会第3日 [ 11月21日 (金) ] 13:30~17:00 口頭発表

### D 会場

スペシャル・セッション「産業と気象Ⅱ ～気象情報・技術の産業への寄与を考える～」

座長：酒井重典（気象予報士会）

- D351 小田嶋 孝一（仙台管区气象台）顕著副振動の実況監視と予測
- D352 柴田 康志（山形農総研セ農生産技試庄内支）2004年台風15号による山形県庄内平野の海塩粒子の飛散に及ぼす風向、地形の影響
- D353 古川 洋一（農業：岩手県花巻市）農業から見た気象情報
- D354 小川 栄造（気象予報士会）太陽光発電へのアメダスデータ全日射量の活用
- D355 飯泉 仁之直（農環研）観測及び領域気候モデルの特別データを用いた地域スケールでの水稻共済金額の推定
- D356 神田 英司（東北農研）気象データに基づく「水稻冷害早期警戒システム」の開発と運用
- D357 大場 淳司（宮城県古川農試）水田輪作作物病害の発生予察および防除における気象情報の利用
- D358 山本 桂香（JAMSTEC）地球観測データの統合・解析サンプルプロダクトを用いたニーズ調査
- D359 蒔苗 仁（仙台管区气象台）異常天候早期警戒情報について
- D360 平松 章男（北陸先端大知識）異常天候早期警戒情報を利用した在庫管理の意思決定について
- D361 沢田 雅洋（東北大院理）ダウンスケーリングを用いた高解像度予報データの利用に向けて-2003/2004年の7月のケース-
- D362 岩井 宏徳（NICT）ドップラーライダーによる蔵王おろしの観測
- D363 田村 一卓（東北大院理）局地気象予報システムDS3による海風中の水平ロール対流再現
- D364 中山 秀晃（気象予報士会）Wikiを活用した旅行用気象情報サイトの構築について
- D365 和田 愛子（気象協会）天気予報に関する意識調査を生かした気象ポータルサイトの認知度向上への取り組み
- D366 富山 芳幸（気象予報士会）予報事業の可能性と予報の利用との間のミスマッチについての12の問い

## 大会第1日〔11月19日(水)〕 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P101 間瀬 博文 温帯低気圧に類似する黒潮大蛇行の発生と発達
- P102 安井 壯一郎(北大院環境科学) NLBMを用いた北半球大気循環の偏差場形成
- P103 千葉 長(気象研) 山岳によって誘起された定常内部重力波
- P104 金森 史郎(東大気候システム) 2005年12月にインドネシアで観測された対流とそれに伴う重力波に関する研究
- P105 北川 裕人(気象庁数値予報) 気象庁高解像度全球大気モデルにおける湿潤過程改善の試み
- P106 斉藤 和雄(気象研) 気象庁メソモデルによるBGM法の開発とNHM-LETKFへの境界値摂動の影響
- P107 吉野 純(岐阜大院工) 気象庁全国合成レーダーによる雲微物理量の4次元データ同化手法の開発
- P108 瀬古 弘(気象研) 非静力学モデルで再現したムンバイ豪雨
- P109 新藤 永樹(気象研) 全球モデルと領域非静力学モデルを用いた台風発生・発達実験(II)
- P110 藤木 孝則(弘前大理工) 北大西洋北緯25度以北で発生したTropical Cycloneの発生時の循環場
- P111 梅林 憲太(九大院理) 台風発生の環境場とMadden-Julian振動の関係
- P112 横井 覚(東大気候システム) CMIP3マルチモデルデータを用いた温暖化時の台風発生頻度変化予測
- P113 岩崎 聡子(北大院環境) 帯状平均場の予測可能性
- P114 岩本 勉之(防災科研雪氷) オホーツク海高気圧のラジオゾンデ観測 海霧と大気海洋双方向作用
- P115 藤田 慎一(電中研) 平成18年豪雪時の降雪と海塩の化学
- P116 飯泉 仁之直(農環研) バイズ推定と統計的ダウンスケーリングを併用したベトナム・メコンデルタ域の全天日射量の推定
- P117 横山 千恵(東大気候システム) TRMM PFデータを用いた東太平洋ITCZ域における降水システムと環境場の関係
- P118 ラハマトウ ヒダヤット(東北大院理) Occurrence of heavy rainfall event over Indonesia and relationship with the Madden-Julian Oscillation
- P119 鈴木 恒明(FRCGC) MJO対流活発期に現れるスーパークラスターを構成する深い対流の日変化
- P120 本多 祐美子(奈良女子大) 衛星観測による東南アジアにおけるバイオマスバーニングの研究1.火災発生件数と大気微量成分の対応
- P121 田畑 悦和(京大生存研) インドネシア海洋大陸域におけるNCEP/NCAR再解析水平風速データの精度評価
- P122 伍井 稔(いであ) エル・ニーニョ監視指数の不規則性に関する統計的性質
- P123 伊藤 正樹(京大院理) インド洋ダイポールモードが季節内振動の活動度と与える影響について
- P124 市川 裕樹(名大院環境) 北半球夏季インド洋における巻雲増加について
- P125 上本 智也(名大院環境) 北部オーストラリアにおける圏界面オーバーシュート事例
- P126 岩崎 杉紀(防大) オーバーシュートによる成層圏の加湿: CALIPSO、CloudSat、MTSATによる解析
- P127 荻野 慎也(IORGC) ベトナム・ハノイにおける下部対流圏逆転層と広域循環との関係
- P128 二見 昌好(JICA) アジアモンスーンの季節進行に対する土壌水分の役割
- P129 赤坂 郁美(JAMSTEC/FRCGC) フィリピンにおける20世紀の降水特性の長期変化傾向
- P130 堀井 孝憲(IORGC) インド洋ダイポール現象発生時における東部インド洋の海洋内部の変動
- P131 上田 亜実(九大総理工) 日本海SST微細構造が極東縁辺海域の気象に及ぼす影響とその過程について
- P132 小守 信正(地球シミュレータ) CFESによる高解像度大気海洋結合シミュレーション(III)

## 大会第1日〔11月19日(水)〕 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P133 萩野谷 成徳 (気象研) 中国域の蒸発量マップ作成
- P134 高橋 清利 (気象庁気候情報) 日本における暖候期の月降水量分布の変動パターンと大気循環場の関係 (その2)
- P135 磯崎 勉 (筑波大院生命環境) プレモンスーン期の大気・地表面加熱におけるエアロゾルの寄与
- P136 長谷川 聡 (環境研) 解像度の異なるMIROC3.2大気モデルにおける熱帯低気圧の発生ポテンシャル
- P137 中村 哲 (環境研) 北半球夏季下部成層圏オゾン増加と対流圏低温化の関係
- P138 西森 基貴 (農環研) 温暖化農業影響評価のための日射量推定-RCMと統計手法を併用したダウンスケーリング-
- P139 村崎 万代 (気象研) JRA-25の20kmダウンスケーリングデータによる夏季降水量の変化
- P140 遠藤 洋和 (気象研) 全球大気モデルによる気候値再現性の水平分解能依存性
- P141 大島 和裕 (北大地球環境) CMIP3気候モデルにおける北太平洋10年規模変動の再現性と将来予測
- P142 村上 和隆 (名大院環境) 地球環境変動解析のためのシンプル地球システムモデルの構築
- P143 小倉 知夫 (NIES) 温暖化時の雲の応答における微物理過程の役割
- P144 仲江川 敏之 (気象研) 力学的季節予測決定論的情報の経済価値の評価-利根川上流域の渇水予測を例として-
- P145 丸岡 知浩 (九大院理) サクラの開花に対する地球温暖化の影響
- P146 堀 雅裕 (JAXA/EORC) 1980年代以降の日照時期の北極域曇天率の経年変動
- P147 川本 温子 (地球研) 北緯35° 付近における雨量計0.05° グリッドとTRMM (2A25)の日降水量
- P148 市野 美夏 (JAMSTEC) 最近100年間の東京における日射量の推定と変動
- P149 林 陽生 (筑波大院生命環境) 鬼怒川・小貝川流域における顕著大雨災害の気象学的特徴
- P150 藤本 亜希子 (HIT) 中四国地方における大雨発生頻度の最近47年間にわたる変化傾向の解析
- P151 高根 雄也 (筑波大院生命環境) 夏季に大阪平野で発達する局地循環と都市化が地域の気候形成に及ぼす影響-大気境界層の熱・水収支解析-
- P152 畔柳 秀匡 (岡山理大院総合情報) メソ気象モデルWRFによる街区気温の再現性 (1) - 大阪市中心部を対象として -
- P153 重田 祥範 (岡山大院自然科学) 対照的な街区構造を有するオフィス・住宅・商業街区での気象観測 - 大阪平野を対象として -
- P154 田川 稔 (明星大院理工) メソ気象モデルWRF による街区内気温の再現性 (2) - 東京都23 区域を対象として -
- P155 大野 洋 (京大防災研) セル状対流とそれに伴う鉛直旋回流の構造への格子幅の影響
- P156 中井 専人 (防災科研雪氷) 積雪時における地上4高度の気温観測
- P157 マハルディカ バルネス (防衛大) Gamma Ray Attenuation in Tree Layer
- P158 下重 光次 (岡山大院環境) 渦相関法とプロファイル法による海面CO<sub>2</sub>フラックス測定
- P159 川端 康弘 (京大院理) 地表付近における強風の特徴について
- P160 福原 隆彰 (鉄道総研) 高密度地上気象観測でとらえた庄内平野の風速変動の特性
- P161 高野 哲夫 (気象予報士会) 山形県置賜地方における冬季局地風の力学的機構とフルード数の関係
- P162 橋口 太一郎 (首都大システムデザイン) コヒーレントドップラーライダーによる清川ダシ観測 (2)
- P163 池上 茉莉花 (東北大院理) 北海道南西部における地峡風の研究

## 大会第1日〔11月19日(水)〕 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P164 鈴木 真一 (防災科研) 2008年7月12日に東京都で突風被害を発生させた積乱雲の構造
- P165 松田 洋平 (防衛大地球海洋) 夏季の東京周辺に豪雨をもたらした積乱雲の発生・発達機構
- P166 大塚 清敏 (大林組技研) 雷雨時の環境条件と下降風突風との関連および気象データによる予見可能性について
- P167 高橋 暢宏 (NICT) 陸上におけるShallow rainによる降水への貢献について—衛星搭載マイクロ波放射計による陸上降水推定の評価—
- P168 尾上 万里子 (名大地球水循環) 梅雨期の沖縄で観測された対流セル内の降水粒子分布特性
- P169 岡田 靖子 (北大院地球環境) 沖縄地方梅雨期の降雨—梅雨期中盤における一時的な少雨について—
- P170 小野木 茂 (気象研) 1.3GHz ウィンドプロファイラーによる雨滴粒径の抽出 (序報)
- P171 深町 有佑 (名大地球水循環) 降水セルの3次元検出アルゴリズムの開発
- P172 山内 洋 (気象研) 四国における人工降雨実験と同期した地上・リモートセンシング観測 (速報)
- P173 酒井 哲 (気象研) 2008年夏季人工降雨実験におけるライダー観測 (速報)
- P174 山下 克也 (気象研) 人工降雨シーディング用吸湿性粒子の雲凝結核特性
- P175 斎藤 篤思 (気象研) 小規模シーディング実験において散布される吸湿性粒子
- P176 石元 裕史 (気象研) AIRS輝度温度データを用いた上部対流圏の湿度推定
- P177 古本 淳一 (京大生存研) 443MHzウィンドプロファイラを用いた沖縄亜熱帯域における水蒸気プロファイルの推定
- P178 石田 春磨 (情技センター) GOSAT-CAIによる雲スクリーニング
- P179 中村 美紀 (京大院人間環境) 翼型係留気球の設計と開発
- P180 橋口 浩之 (京大生存研) イメージング・ウィンドプロファイラーの開発
- P181 大友 章太郎 (東北大院理) 能動型測器を複合的に用いた降雨・降雪を伴う雲の微物理特性抽出法に関する研究
- P182 吉川 栄一 (阪大院工) 気象用Ku帯広帯域レーダの開発と高分解能観測結果
- P183 坂見 智法 (気象研) 気象研究所地球システムモデルにおけるエアロゾル-雲相互作用の開発
- P184 小林 ちあき (気象庁環境気象) JRA-25の風をナッジングしたMRI-CCM1で再現されるオゾンの年々変動
- P185 田口 彰一 (産総研) CONTRAILデータを用いたCO<sub>2</sub>フラックスの推定
- P186 金 憲淑 (環境研) Validation of seasonal CO<sub>2</sub> flux inversion using NIES transport model
- P187 吉田 聡 (地球シミュレータ) Emanuel対流スキームの改良による水蒸気鉛直分布の改善
- P188 財前 祐二 (気象研) 宝達山 (能登半島) でのエアロゾル混合状態
- P189 山崎 明宏 (気象研) 福岡でのエアロゾル光学特性2008年春季集中観測期間中の炭素成分分析結果
- P190 松下 純 (富山大院理工学) 環日本海域におけるエアロゾルの光学的特性の季節変化
- P191 楊 芸 (名大院環境) CALIPSO により観測された Attenuated Backscatter の減衰補正
- P192 原 由香里 (環境研) 衛星搭載ライダーCALIOPとWRFから得られた夏季タクラマカンダストと混合層の鉛直構造
- P193 向井 真木子 (JAXA/EORC) エアロゾル特性に関する衛星データと数値モデルの多波長での比較—2008年春の東アジア域について—

**大会第1日〔11月19日（水）〕 17:00～18:00 ポスター・セッション**

- P194 田中 泰宙（気象研）火山起源硫酸塩エアロゾルのシミュレーション：20世紀の火山起源エアロゾルによる放射収支への影響
- P195 宮本 明（九大院総理工）全球気候モデルを用いた雲・降水特性に対するエアロゾル・氷雲相互作用の効果に関する研究
- P196 深堀 正志（気象大）一酸化炭素（2-0）帯における吸収線中心波数の圧力シフト
- P197 Mendrok Jana（NICT）Refractive Index of Water Ice in the THz region and Implications on Cloud Remote Sensing
- P198 和田 章義（気象研）海洋貯熱量変動に見られる台風活動モードと台風経路の関係

## 大会第3日〔11月21日（金）〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P301 寺崎 康児（筑波大院生命環境）鉛直波数空間におけるエネルギースペクトル解析
- P302 岩山 隆寛（神大院理）減衰性2次元乱流におけるエンストロフィー減衰則の転移
- P303 熊田 桂子（九大院理）3次元Wave Activity FluxによるGCM中の1日潮汐波の解析
- P304 坂崎 貴俊（北大環境）WINDAS・MUレーダーを用いた下層大気の風の日変動の解析
- P305 坪田 幸政（桜美林大）メソスケール気象モデル（WRF）を用いた局地天気予報
- P306 原 昌弘（気象研）WWRP北京オリンピック2008予報実証／研究開発プロジェクト（2008年本実験の検証、他センターとの比較）
- P307 吉田 健二（九大院理）梅雨期における九州地方の大雨事例に対する台風の遠隔影響
- P308 日置 智仁（名大地球水循環）雲解像モデルで再現された発達する台風の中心部の構造
- P309 村田 昭彦（気象研）発生期の台風の数値シミュレーション — 全球モデルと非静力学モデルによる再現性の違い —
- P310 佐藤 友徳（東大気候システム）低解像度の気象場から台風の発生・経路を確率的に推定する試み
- P311 筒井 純一（電中研）CMIP3マルチ気候モデルデータから見積られる潜在的な台風強度の変化
- P312 栢原 孝浩（防災科研）複数の異なる海面水温偏差を用いた大気大循環モデルによる地球温暖化実験の熱帯低気圧活動度について
- P313 竹内 茜（筑波大院生命環境）線形傾圧モデルを用いた北太平洋高気圧の発達要因の解明
- P314 関 隆則（気象予報士会）MT法による冬型気圧配置判別のための一方法
- P315 吉池 聡樹（富山大院理工）日本近海の爆弾低気圧活動と大規模循環場との相互作用
- P316 本井 裕志（JAXA/EORC）地球観測データの提供・利用サービス
- P317 森 博之（ブータン王国の気象部門に対するひとつの国際技術協力
- P318 村田 文絵（高知大理）チェラプンジにおける降水過程に関する研究（第5報）
- P319 木口 雅司（東大生産研）バングラデシュにおけるプレモンスーン期の降水と水蒸気変動
- P320 宮川 知己（東大気候システム）NICAMのMJO（2006年12月）事例におけるレインバンドに伴う運動量輸送
- P321 池上 久通（筑波大院生命環境）TRMM/TMIによる熱帯域における海面水温日変化の推定
- P322 廣瀬 祐城（筑波大院生命環境）西太平洋における対流活動の水平スケール・鉛直構造の統計的特徴
- P323 佐藤 悠（弘前大院理）ISCCP D1データを用いた熱帯の雲の分類と分布の解析
- P324 阿保 真（首都大システム）赤道上空の成層圏エアロゾル層の分布とQBOの関係
- P325 五十嵐 弘道（JAMSTEC）赤道アフリカ東部における降水量の年々変動と水蒸気輸送について
- P326 小松 豊（鳥大乾地研）モンゴル東部における融雪時期の大気熱収支
- P327 蒲生 稔（産総研）中高緯度落葉樹林帯における春の気温と展葉時期の関係
- P328 佐伯 田鶴（地球研）ザンビア南部州における気象観測
- P329 福島 あずさ（首都大地理）ネパールにおけるプレモンスーン季の降水プロセスと循環場の季節進行
- P330 佐藤 岳仁（東北大院理）エル・ニーニョ時の西太平洋暖水域の熱輸送量変動
- P331 和田 章義（気象研）海面水温日変化スキームの開発と大気海洋結合モデルへの適用
- P332 Qin Huiling（TOHOKU University）Surface heat flux in the Hot Event
- P333 鈴木 聡（東大院工）テレコネクションパターンを利用した梅雨期月降水量予測



## 大会第3日〔11月21日（金）〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P334 高橋 幸弘（東北大院理）One-month variations in OLR and lightning activity related to solar parameter
- P335 井上 知栄（筑波大院生命環境）CMIP3マルチ気候モデルにおける夏季アジアモンスーン季節進行の再現性比較
- P336 村上 裕之（AESTO/気象研）20km格子全球大気モデルによる現在気候実験で再現された台風活動のENSO依存性について
- P337 大楽 浩司（防災科研）地域気候モデルの河川流域での現在気候再現性
- P338 大泉 三津夫（気象研）マルチモデルアンサンブル実験での地域気候モデルの降積雪特性
- P339 立入 郁（FRCGC）簡略気候モデルMIROC-liteを用いたパラメータ不確実性解析
- P340 石崎 安洋（気象研）ベイズ的アプローチによる21世紀後半の日本における地表面気温上昇量
- P341 富永 晶子（筑波大自然学類）地球温暖化に伴う西部北太平洋モンスーンと梅雨明けの変化
- P342 中野 満寿男（AESTO）イベントごとの降水特性の調査法の検討
- P343 西澤 慶一（電中研）海面上昇への影響を考慮した温室効果気体の排出メトリックの評価
- P344 黒木 晴光（筑波大院生命環境）最終氷期におけるアジアモンスーンの季節進行
- P345 大庭 雅道（筑波大）白亜紀初期から末期にかけての大陸移動が気候に及ぼす影響～白亜紀の気候シミュレーション～
- P346 大曾根 悠子（筑波大自然学類）6,000年前（完新世中期）における夏季アジアモンスーンの変調
- P347 野津 雅人（地球研）地形勾配に対する相対風向と降水量の関係
- P348 足立 幸穂（筑波大院生命環境）関東域における過去30年間の気温変化傾向の要因分析
- P349 村治 能孝（EScoT）茨城県西端県境における8月の高温についての考察
- P350 鈴木 靖（気象協会）熊谷市熱中症予防情報と各熱中症指標計の比較について
- P351 岩井 宏徳（NICT）東京都市域における海風前線の立体構造
- P352 菅原 敏（宮城教育大）仙台市中心部における「CO<sub>2</sub>アイランド」
- P353 山野 満男（防大地球海洋）都市キャニオン内の気流構造と上空への熱輸送
- P354 北村 祐二（気象研）Germanoの恒等式を用いたサブグリッドスケールのフラックスの評価
- P355 遠藤 智史（名大地球水循環）湿潤な陸域における対流境界層と積雲の数値実験
- P356 早乙女 拓海（筑波大院生命環境）Mic散乱ライダーデータを用いたつくば上空のエアロゾル境界層構造の特性
- P357 花岡 慶賢（岡山大学院環境学）大麦群落における夜間CO<sub>2</sub>フラックス測定の見誤差要因の解明
- P358 塚本 幸生（岡山大院環境学）森林における夜間のCO<sub>2</sub>流出量評価（Ⅲ）
- P359 小寺 裕之（気象庁観測システム運用室）突風に関する量的予報プロダクトの開発
- P360 石崎 紀子（気象研）日本域における強風を伴う昇温現象—2002年事例解析—
- P361 根本 由紀子（気象予報士会）地上気温の変化に対する上層の特徴
- P362 根平 嶺央（高知大院）2008年6月29日安芸市で発生した竜巻
- P363 田畑 弾（日大院総合基礎科学）関東平野北部において2008年5月26日と7月25日に発生した降雹（メソ気流系を中心とした解析）
- P364 宮崎 忠臣（前工大）前橋上空で長時間維持された雷雲と雷放電の特徴
- P365 牛尾 知雄（阪大院工）広帯域レーダによって観測されたF0スケールの竜巻

## 大会第3日〔11月21日（金）〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P366 小田 義裕（九大総理工）福岡平野内陸部における局所降雨のシミュレーション
- P367 東 佑次（三重大院生物資源）尾鷲周辺の降雨に与える地形の効果について
- P368 岩波 越（防災科研）Xバンド偏波レーダーにおける比偏波間位相差KDPの導出手法の改良
- P369 竹森 史郎（いであ）マルチパラメータレーダを用いた山岳部の降雨定量観測方法の研究
- P370 橋口 浩之（京大生存研）人工降雪実験における車載型Kaバンドレーダーによる降雪雲の観測
- P371 高橋 靖（防衛大地球海洋）三沢飛行場における層雲の雲底高度について
- P372 石田 春磨（情技センター）気象衛星MTSAT-1Rによる霧検出手法の開発
- P373 井上 豊志郎（東大気候システム）CALIOPによる巻雲とSplit Window
- P374 圓若 和希（名大院環境）熱帯対流圏界面付近に生成される巻雲の観測と微物理モデルの相互比較
- P375 朽木 勝幸（気象研）MODISデータを用いた南極点における氷床表面ラフネスの推定
- P376 藤井 秀幸（JAXA/EORC）衛星搭載改良型高性能マイクロ波放射計AMSR-E土壤水分アルゴリズムの検証
- P377 斉藤 貞夫（JAXA/EORC）強雨域でのAMSR-E全天候型海上風速の特性について
- P378 永井 智広（気象研）1.6 $\mu$ m帯二酸化炭素鉛直分布観測DIAL用高精度受信部の開発
- P379 山本 真之（京大生存研）赤道大気レーダー（EAR）・雲レーダー（SPIDER）による氷晶の落下速度の観測
- P380 石坂 雅昭（防災科研）降水量寄与を反映した降雪粒子の種類判別の試み
- P381 田尻 拓也（気象研）MRI雲生成チェンバーによる雲物理実験 混合雲における氷晶発生過程について（その2）
- P382 伊藤 和貴（気象庁環境気象）気象研究所化学気候モデルと地上観測データのオゾン濃度比較
- P383 橋田 元（極地研）南極昭和基地において2006年冬季から春季に観測された1ヶ月スケールの地上オゾン低濃度現象
- P384 佐伯 浩介（東北大院環境）FTIRを用いた南極昭和基地における2007年オゾンホール観測
- P385 川合 真一郎（名大院環境）陸域生物圏モデルBEAMSを用いた炭素循環の将来予測シミュレーション
- P386 藤原 正智（北大院地球環境）熱帯下部成層圏における水蒸気の長期変動（1）
- P387 及川 栄治（東大気候システム）CALIPSOデータから求めたバイオマスバーニング領域におけるエアロゾル層と雲層高度の関係
- P388 藤代 恵史（東京理科大理）富士山における粒子輸送量の定量評価の可能性
- P389 三浦 和彦（東京理科大理）日本各地で測定したサブミクロン粒子の粒径分布
- P390 楨山 恵子（名大院環境）シーロメータとマイクロ波放射計を用いたエアロゾルと温度の高度分布の同時観測
- P391 中山 智行（富山大院理工学）エアロゾルの光学的特性導出のための太陽放射観測の雲除去
- P392 橋本 明弘（気象研）黄砂エアロゾルと上層雲の関係に関する微物理的粒子追跡モデルを用いた解析
- P393 額 文晴（名大地球水循環）地上および衛星搭載ライダーにより観測されたアルタイル火山噴火雲
- P394 篠原 卓（九大院総理工）衛星データを利用した森林火災起源エアロゾル排出量の推定及び全球エアロゾルモデルによるシミュレーション
- P395 弓本 桂也（九大応力研）全球エアロゾルモデルとアンサンブルカルマンフィルタを用いた2波長エアロゾル光学的厚さの同化実験

**大会第3日〔11月21日（金）〕 11:30～12:30 ポスター・セッション**

- P396 青木 輝夫（気象研）紫外-可視域における氷の複素屈折率データ改訂が積雪の光学特性の計算値に与える影響
- P397 福田 悟（東大気候システム）GLIエアロゾル陸域プロダクトの地上観測との比較
- P398 河本 和明（長崎大環境科学）地表面短波放射量変動への気象要素の相対的寄与

## 講演者索引

- < A >
- Abe Manabu (阿部 学) A115  
 Abo Makoto (阿保 真) P324  
 Adachi Sachiho (足立 幸穂) P348  
 Adachi Yukimasa (足立 恭将) A112  
 Akasaka Ikumi (赤坂 郁美) P129  
 Akiyoshi Hideharu (秋吉 英治) D169  
 Akter Nasreen D115  
 Aoki Kazuma (青木 一真) B202  
 Aoki Teruo (青木 輝夫) P396  
 Aonashi Kazumasa (青梨 和正) A304  
 Aonashi Kazumasa (青梨 和正) D211  
 Arakawa Takashi (荒川 隆) A113
- < C >
- Chen Guixing (陳 桂興) A161  
 Chiba Masaru (千葉 長) P103  
 Chikamoto Yoshimitsu (近本 喜光) A357
- < D >
- Dairaku Koji (大楽 浩司) P337
- < E >
- Endo Hirokazu (遠藤 洋和) P140  
 Endo Nobuhiko (遠藤 伸彦) A159  
 Endo Satoshi (遠藤 智史) P355  
 Enomoto Takeshi (榎本 剛) A361
- < F >
- Fujibe Fumiaki (藤部 文昭) A204  
 Fujibe Fumiaki (藤部 文昭) A205  
 Fujii Hideyuki (藤井 秀幸) P376  
 Fujiki Takanori (藤木 孝則) P110  
 Fujimoto Akiko (藤本 亜希子) P150  
 Fujishiro Satoshi (藤代 恵史) P388  
 Fujita Shinichi (藤田 慎一) P115  
 Fujiwara Masatomo (藤原 正智) P386  
 Fukabori Masashi (深堀 正志) P196  
 Fukamachi Yusuke (深町 有佑) P171  
 Fukuda Satoru (福田 悟) P397  
 Fukuhara Takaaki (福原 隆彰) P160  
 Fukushima Azusa (福島 あずさ) P329  
 Furukawa Youichi (古川 洋一) D353  
 Furumoto Jun-ichi (古本 淳一) P177  
 Futami Masayoshi (二見 昌好) P128
- < G >
- Gamo Minoru (蒲生 稔) P327  
 Geng Biao (耿 驃) C159  
 Goto Daisuke (後藤 大輔) B104  
 Goto Daisuke (五藤 大輔) B215  
 Gotoh Shinji (後藤 慎司) A116
- < H >
- Hagihara Yuichiro (萩原 雄一朗) D209  
 Haginoya Shigenori (萩野谷 成徳) P133  
 Hanafusa Tatsuo (花房 龍男) D205  
 Hanaoka Yoshimasa (花岡 慶賢) P357  
 Hara Masahiro (原 昌弘) D106  
 Hara Masahiro (原 昌弘) P306  
 Hara Masayuki (原 政之) A208
- Hara Yukari (原 由香里) P192  
 Hasegawa Akira (長谷川 聡) P136  
 Hashida Gen (橋田 元) P383  
 Hashiguchi Hiroyuki (橋口 浩之) P180  
 Hashiguchi Hiroyuki (橋口 浩之) P370  
 Hashiguchi Taichiro (橋口 太一郎) P162  
 Hashimoto Akihiro (橋本 明弘) B359  
 Hashimoto Akihiro (橋本 明弘) P392  
 Hashimoto Jun (橋本 潤) D213  
 Hashimoto Jun (橋本 潤) D214  
 Hayasaka Tadahiro (早坂 忠裕) D215  
 Hayasaki Masamitsu (早崎 将光) B302  
 Hayashi Taichi (林 泰一) A155  
 Hayashi Taichi (林 泰一) B308  
 Hayashi Yousay (林 陽生) P149  
 Hibino Mayumi (日比野 真弓) B204  
 Higashi Yuji (東 佑次) P367  
 Hioki Tomohito (日置 智仁) P308  
 Hiramatsu Akio (平松 章男) D360  
 Hirose Yuki (廣瀬 祐城) P322  
 Honda Yumiko (本多 祐美子) P120  
 Hori Masahiro (堀 雅裕) P146  
 Horii Takanori (堀井 孝憲) P130
- < I >
- Ichikawa Hiroki (市川 裕樹) P124  
 Ichino Mika (市野 美夏) P148  
 Igarashi Hiromichi (五十嵐 弘道) P325  
 Ihara Tomohiko (井原 智彦) C114  
 Izumi Toshichika (飯泉 仁之直) D355  
 Izumi Toshichika (飯泉 仁之直) P116  
 Ikegami Hisamichi (池上 久通) P321  
 Ikegami Marika (池上 茉莉花) P163  
 Imada Yukiko (今田 由紀子) C202  
 Imamura Takeshi (今村 剛) D301  
 Inatsu Masaru (稲津 将) C212  
 Inoue Hanako (猪上 華子) B166  
 Inoue Jun (猪上 淳) A359  
 Inoue Makoto (井上 誠) D165  
 Inoue Tomoshige (井上 知榮) P335  
 Inoue Toshiro (井上 豊志郎) P373  
 Irie Hitoshi (入江 仁士) B107  
 Ishida Haruma (石田 春磨) P178  
 Ishida Haruma (石田 春磨) P372  
 Ishihara Koji (石原 幸司) C307  
 Ishii Shoken (石井 昌憲) D206  
 Ishijima Kentaro (石島 健太郎) C359  
 Ishikawa Hirohiko (石川 裕彦) A153  
 Ishimoto Hiroshi (石元 裕史) P176  
 Ishizaka Masaaki (石坂 雅昭) A207  
 Ishizaka Masaaki (石坂 雅昭) P380  
 Ishizaki Noriko (石崎 紀子) P360  
 Ishizaki Yasuhiro (石崎 安洋) P340  
 Ishizuka Masahide (石塚 正秀) B203  
 Isibasi Toshiyuki (石橋 俊之) D101  
 Isibasi Toshiyuki (石橋 俊之) D102  
 Isozaki Tsutomu (磯崎 勉) P135  
 Itano Toshihisa (板野 稔久) D154  
 Ito Junshi (伊藤 純至) C102  
 Ito Kazuki (伊藤 和貴) P382  
 Itoh Haruna (伊藤 春奈) B108
- Itou Masaki (伊藤 正樹) P123  
 Itsui Minoru (伍井 稔) P122  
 Iwai Hironori (岩井 宏徳) D362  
 Iwai Hironori (岩井 宏徳) P351  
 Iwamoto Katsushi (岩本 勉之) P114  
 Iwanami Koyuru (岩波 越) B367  
 Iwanami Koyuru (岩波 越) P368  
 Iwasaki Hiroyuki (岩崎 博之) A158  
 Iwasaki Satoko (岩崎 聡子) P113  
 Iwasaki Suginori (岩崎 杉紀) P126  
 Iwayama Takahiro (岩山 隆寛) P302
- < K >
- Kajino Mizuo (梶野 瑞王) B201  
 Kamae Youichi (釜江 陽一) A117  
 Kamahori Hiroataka (釜堀 弘隆) C304  
 Kamahori Hiroataka (釜堀 弘隆) D118  
 Kamiguchi Kenji (上口 賢治) A203  
 Kanada Sachie (金田 幸恵) A103  
 Kanamori Shiro (金森 史郎) P104  
 Kanda Eiji (神田 英司) D356  
 Kanno Hiromitsu (菅野 洋光) A201  
 Kato Kuranoshin (加藤 内藏進) A160  
 Kato Kuranoshin (加藤 内藏進) C152  
 Kato Ryohei (加藤 亮平) D309  
 Kato Teruyuki (加藤 輝之) B152  
 Kato Teruyuki (加藤 輝之) C303  
 Katsumata Masaki (勝俣 昌己) C163  
 Katsumata Masaki (勝俣 昌己) C165  
 Kawabata Takuya (川畑 拓弘) A307  
 Kawabata Yasuhiro (川端 康弘) P159  
 Kawai Shinichiro (川合 真一朗) P385  
 Kawamoto Haruko (川本 温子) P147  
 Kawamoto Kazuaki (河本 和明) P398  
 Kawasaki Masahiro (川崎 昌博) B114  
 Kawasc Hiroaki (川瀬 宏明) A108  
 Kawatani Yoshio (河谷 芳雄) D162  
 Kayahara Takahiro (栢原 孝浩) P312  
 Kazuyo Murasaki (村崎 万代) P139  
 Khatri Pradeep B212  
 Kiguchi Masashi (木口 雅司) P319  
 Kikegawa Yukihiro (亀卦川 幸浩) C113  
 Kim Heon-sook (金 憲淑) P186  
 Kimura Yoichi (木村 洋一) C151  
 Kinoshita Takenari (木下 武也) D171  
 Kitabatake Naoko (北島 尚子) D117  
 Kitagawa Hiroto (北川 裕人) P105  
 Kitamura Yuji (北村 祐二) P354  
 Kobayashi Chiaki (小林 ちあき) P184  
 Kobayashi Fumiaki (小林 文明) B163  
 Kobayashi Takahisa (小林 隆久) B366  
 Kodama Yasu-masa (児玉 安正) A214  
 Kodama Yasu-masa (児玉 安正) D160  
 Kodera Kunihiko (小寺 邦彦) A210  
 Koike Katsuyuki (小池 克征) B358  
 Komatsu Yutaka (小松 豊) P326  
 Komori Nobumasa (小守 信正) P132  
 Komori Takuya (小森 拓也) A363  
 Kondo Hiroaki (近藤 裕昭) C364  
 Kondo Keiichi (近藤 圭一) A302  
 Konno Shohei (紺野 祥平) A202

- Kosaka Yu (小坂 優) A109  
 Koshiro Tsuyoshi (神代 剛) C216  
 Kotera Hiroyuki (小寺 裕之) P359  
 Kouketsu Takeharu (纈纈 丈晴) P393  
 Koyama Hiroshi (小山 博司) A303  
 Koyama Yuji (古山 祐治) B117  
 Kuba Naomi (久芳 奈遠美) B361  
 Kubota Hisayuki (久保田 尚之) A164  
 Kubota Hisayuki (久保田 尚之) C153  
 Kubota Takuji (久保田 拓志) B305  
 Kuchiki Katsuyuki (朽木 勝幸) P375  
 Kumada Keiko (熊田 桂子) P303  
 Kunii Masaru (國井 勝) A308  
 Kunii Masaru (國井 勝) D105  
 Kuroda Takeshi (黒田 剛史) D159  
 Kuroda Takeshi (黒田 剛史) D307  
 Kuroda Tohru (黒田 徹) B307  
 Kuroda Yuhji (黒田 友二) A354  
 Kuroki Harumitsu (黒木 晴光) P344  
 Kuroyanagi Hidemasa (畔柳 秀匡) P152  
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) B164  
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) B165  
 Kusunoki Shoji (楠 昌司) A105  
 Kuwano-yoshida Akira (吉田 聡) P187
- < L >  
 Lee Keun-ok (李 根玉) B369  
 Lin Xinan (林 徙南) D212
- < M >  
 Mabuchi Kazuo (馬淵 和雄) C355  
 Maechi Yasumitsu (前島 康光) B162  
 Maesaka Takeshi (前坂 剛) B154  
 Mahardhika Barnes P157  
 Makanac Hitoshi (蒔苗 仁) D359  
 Maki Masayuki (真木 雅之) B157  
 Makiyama Keiko (槇山 恵子) P390  
 Maruoka Tomohiro (丸岡 知浩) P145  
 Maruwaka Kazuki (圓若 和希) P374  
 Mase Hirofumi (間瀬 博文) P101  
 Masuda Aritoshi (増田 有俊) B155  
 Masuda Kooiti (増田 耕一) A163  
 Masunaga Hirohiko (増永 浩彦) C206  
 Matsuda Youhei (松田 洋平) P165  
 Matsueda Hidekazu (松枝 秀和) C360  
 Matsueda Mio (松枝 未遠) A107  
 Matsueda Mio (松枝 未遠) A353  
 Matsumi Yutaka (松見 豊) B115  
 Matsumoto Jun (松本 淳) A156  
 Matsushima Kazuhiro (松島 和宏) D158  
 Matsushita Jun (松下 純) P190  
 Mega Tomoaki (妻鹿 友昭) C156  
 Mendrok Jana P197  
 Mikami Aya (三上 彩) B160  
 Mimura Kazuo (三村 和男) D152  
 Minobe Shoshiro (見延 庄士郎) C213  
 Misumi Ryohei (三隅 良平) B156  
 Miura Kazuhiko (三浦 和彦) P389  
 Miyakawa Tomoki (宮川 知己) P320  
 Miyamoto Akira (宮本 明) P195  
 Miyazaki Kazuyuki (宮崎 和幸) A301  
 Miyazaki Kazuyuki (宮崎 和幸) D161  
 Miyazaki Tadaomi (宮崎 忠臣) P364  
 Miyoshi Takemasa (三好 建正) A362
- Mizuno Hakaru (水野 量) C305  
 Mizuta Ryo (水田 亮) A106  
 Mizutani Fumihiko (水谷 文彦) D202  
 Mochizuki Takashi (望月 崇) A356  
 Mori Hiroyuki (森 博之) P317  
 Mori Masato (森 正人) A355  
 Mori Shuichi (森 修一) C154  
 Morikawa Yasuhiro (森川 靖大) D304  
 Morimoto Shinji (森本 真司) B103  
 Moteki Qoosaku (茂木 耕作) A360  
 Motoi Hiroshi (本井 裕志) P316  
 Mukai Makiko (向井 真木子) P193  
 Muraji Yoshitaka (村治 能孝) P349  
 Murakami Hideyo (村上 英世) B363  
 Murakami Hiroyuki (村上 裕之) A104  
 Murakami Hiroyuki (村上 裕之) P336  
 Murakami Kazutaka (村上 和隆) P142  
 Murakami Masataka (村上 正隆) B351  
 Murakami Shigeki (村上 茂樹) C357  
 Murakami Shigenori (村上 茂教) A216  
 Murata Akihiko (村田 昭彦) P309  
 Murata Fumie (村田 文絵) P318  
 Murayama Shohei (村山 昌平) C361
- < N >  
 Nagai Tomohiro (永井 智広) P378  
 Nagano Yoshinori (永野 良紀) A212  
 Nagasawa Chikao (長澤 親生) D207  
 Nagasawa Ryoji (長澤 亮二) D108  
 Nakaegawa Tosiaki (仲江川 敏之) P144  
 Nakagawa Hiromu (中川 広務) D305  
 Nakai Sento (中井 専人) P156  
 Nakajima Hideaki (中島 英彰) B102  
 Nakamoto Mitsunori (中本 光紀) C157  
 Nakamura Kozo (中村 晃三) B362  
 Nakamura Masaomi (中村 誠臣) D107  
 Nakamura Miki (中村 美紀) P179  
 Nakamura Tetsu (中村 哲) P137  
 Nakano Masuo (中野 満寿男) A102  
 Nakano Masuo (中野 満寿男) P342  
 Nakata Junko (中田 淳子) C363  
 Nakayama Hideaki (中山 秀晃) D364  
 Nakayama Tomoyuki (中山 智行) P391  
 Nakazato Masahisa (中里 真久) B170  
 Nakazato Masahisa (中里 真久) B354  
 Nakazawa Tetsuo (中澤 哲夫) B306  
 Naoe Hiroaki (直江 寛明) D166  
 Nasuno Tomoe (那須野 智江) C171  
 Nehira Leo (根平 嶺央) P362  
 Nemoto Yukiko (根本 由紀子) P361  
 Niino Hiroshi (新野 宏) D156  
 Ninomiya Kozo (二宮 洸三) A215  
 Nishi Noriyuki (西 憲敬) C168  
 Nishii Kazuaki (西井 和晃) D167  
 Nishimori Motoki (西森 甚貴) P138  
 Nishimura Kaiho (西村 海峰) C108  
 Nishio Masanori (西尾 正則) D210  
 Nishizawa Keiichi (西澤 慶一) P343  
 Nishizawa Seiya (西澤 誠也) D155  
 Nishizawa Tomoaki (西澤 智明) B209  
 Noda Akira (野田 彰) D157  
 Nodzu Masato I. (野津 雅人) P347
- < O >  
 Oda Yoshihiro (小田 義裕) P366  
 Odaka Masatsugu (小高 正嗣) D308  
 Odashima Kouichi (小田嶋 孝一) D351  
 Ogawa Eizou (小川 栄造) D354  
 Ogi Masayo (小木 雅世) C214  
 Ogino Shin-ya (荻野 慎也) B106  
 Ogino Shin-ya (荻野 慎也) P127  
 Ogura Tomoo (小倉 知夫) P143  
 Ohashi Yukitaka (大橋 唯太) C112  
 Ohba Atsushi (大庭 淳司) D357  
 Ohba Masamichi (大庭 雅道) C204  
 Ohba Masamichi (大庭 雅道) P345  
 Ohhigashi Yuji (大東 雄二) B355  
 Ohno Hiroshi (大野 洋) P155  
 Ohno Yuichi (大野 裕一) B353  
 Ohtsuki Shoko (大月 祥子) D302  
 Oikawa Eiji (及川 栄治) P387  
 O'ishi Ryouuta (大石 龍太) C353  
 O'izumi Mitsuo (大泉 三津夫) P338  
 Okada Yasuko (岡田 靖子) P169  
 Okuda Tomohiro (奥田 智洋) B370  
 Onishi Masanori (大西 将徳) C107  
 Onoda Hirokatsu (小野田 浩克) D103  
 Onogi Shigeru (小野木 茂) P170  
 Oosone Yuko (大曾根 悠子) P346  
 Origuchi Seiji (折口 征二) B151  
 Orikasa Narihito (折笠 成宏) B356  
 Ose Tomoaki (尾瀬 智昭) A211  
 Oshima Kazuhiro (大島 和裕) P141  
 Oshima Naga (大島 長) B214  
 Otake Naohito (奥部 直人) D153  
 Otomo Shotaro (大友 章太郎) P181  
 Otsuka Kiyotoshi (大塚 清敏) P166  
 Otsuka Michiko (大塚 道子) C301  
 Oue Mariko (尾上 万里子) P168  
 Oyama Takchiro (小山 健宏) C110
- < P >  
 Pandithurai Govinda B210
- < Q >  
 Qin Huiling P332
- < R >  
 Rahmat Hidayat P118  
 Rezza Muhammad C158  
 Rikiishi Kunio (力石 國男) A206
- < S >  
 Saeki Kosuke (佐伯 浩介) P384  
 Saeki Tazu (佐伯 田鶴) P328  
 Sagawa Hideo (佐川 英夫) D306  
 Saito Atsushi (齋藤 篤思) P175  
 Saito Kazuo (斎藤 和雄) D104  
 Saito Kazuo (斎藤 和雄) P106  
 Saitoh Naoko (齋藤 尚子) B116  
 Saitoh Sadao (斎藤 貞夫) P377  
 Sakai Satoshi (酒井 敏) C117  
 Sakai Tetsu (酒井 哲) B208  
 Sakai Tetsu (酒井 哲) P173  
 Sakami Tomonori (坂見 智法) P183  
 Sakazaki Takatoshi (坂崎 貴俊) P304  
 Sakurai Hidenori (桜井 秀宣) B105

- Sano Atsuko (佐野 亜都子) B171  
 Sano Tetsuya (佐野 哲也) D116  
 Saotome Takumi (早乙女 拓海) P356  
 Satake Shinsuke (佐竹 晋輔) B360  
 Sato Naoki (佐藤 尚毅) C201  
 Sato Takchito (佐藤 岳仁) P330  
 Sato Tomonori (佐藤 友徳) P310  
 Satoh Eriko (佐藤 栄里子) C207  
 Satoh Shinsuke (佐藤 晋介) C101  
 Satou Yu (佐藤 悠) P323  
 Sawada Masahiro (沢田 雅洋) D361  
 Schutgens Nick B110  
 Seiki Ayako (清水 亜矢子) C203  
 Seino Naoko (清野 直子) B158  
 Seki Takanori (関 隆則) P314  
 Seko Hiromu (瀬古 弘) A352  
 Seko Hiromu (瀬古 弘) P108  
 Shibasaki Tokiko (柴崎 登紀子) B109  
 Shibata Yasushi (柴田 康志) D352  
 Shiga Tomoya (志賀 友哉) D168  
 Shigetate Yoshinori (重田 祥範) C111  
 Shigetate Yoshinori (重田 祥範) P153  
 Shimizu Shingo (清水 慎吾) A306  
 Shimoju Koji (下重 光次) P158  
 Shindo Eiki (新藤 永樹) P109  
 Shinoda Taro (篠田 太郎) A154  
 Shinoda Tomonori (篠田 智仁) D201  
 Shinohara Taku (篠原 卓) P394  
 Shoji Yoshinori (小司 禎教) A351  
 Shusse Yukari (出世 ゆかり) D203  
 Sukeyoshi Masakazu (末吉 雅和) A111  
 Sugawara Hirofumi (菅原 広史) C115  
 Sugawara Satoshi (菅原 敏) B101  
 Sugawara Satoshi (菅原 敏) P352  
 Sugimoto Norihiko (杉本 憲彦) C308  
 Sugiura Konosuke (杉浦 幸之助) C106  
 Sukegawa Gouka (助川 剛亜) B159  
 Suzuki Kazuo (鈴木 香寿恵) C215  
 Suzuki Osamu (鈴木 修) B168  
 Suzuki Rikie (鈴木 力英) C354  
 Suzuki Satoshi (鈴木 聡) P333  
 Suzuki Shin-ichi (鈴木 真一) P164  
 Suzuki Tsuneki (鈴木 恒明) P119  
 Suzuki Yasushi (鈴木 靖) P350
- < T >  
 Tabata Dan (田畑 弾) P363  
 Tabata Yoshikazu (田畑 悦和) P121  
 Tachibana Yoshihiro (立花 義裕) A157  
 Tachibana Yoshihiro (立花 義裕) C302  
 Tachiiri Kaoru (立入 郁) P339  
 Tagawa Minoru (田川 稔) P154  
 Taguchi Shoichi (田口 彰一) P185  
 Tajiri Takuya (田尻 拓也) B352  
 Tajiri Takuya (田尻 拓也) P381  
 Takagi Masahiro (高木 征弘) D303  
 Takahashi Chiharu (高橋 千陽) C167  
 Takahashi Kiyotoshi (高橋 清利) P134  
 Takahashi Nobuhiro (高橋 暢宏) P167  
 Takahashi Yasushi (高橋 靖) P371  
 Takahashi Yoshiyuki (高橋 善幸) C362  
 Takahashi Yukihiko (高橋 幸弘) P334  
 Takane Yuya (高根 雄也) C116  
 Takane Yuya (高根 雄也) P151
- Takano Tetsuo (高野 哲夫) P161  
 Takashim Hisahiro (高島 久洋) B213  
 Takatama Kohci (高玉 孝平) C211  
 Takayabu Yukari (高薮 緑) C169  
 Takehiro Shin-ichi (竹広 真一) D310  
 Takemi Tetsuya (竹見 哲也) B167  
 Takemori Shiro (竹森 史郎) P369  
 Takemura Toshihiko (竹村 俊彦) B216  
 Takeuchi Akane (竹内 茜) P313  
 Tamura Kazutaka (田村 一卓) D363  
 Tanaka Hiroshi (田中 博) A209  
 Tanaka Taichu (田中 泰宙) P194  
 Tanaka Tomoaki (田中 智章) B113  
 Taniguchi Hiroshi (谷口 博) C170  
 Tanimoto Hiroshi (谷本 浩志) C352  
 Tateno Satoshi (館野 聡) D163  
 Terao Toru (寺尾 徹) C160  
 Terasaki Koji (寺崎 康児) P301  
 Tominaga Akiko (富永 晶子) P341  
 Tomita Hirofumi (富田 浩文) C105  
 Tomiyama Yoshiyuki (冨山 芳幸) D366  
 Toyoshima Kouichi (豊嶋 紘一) D113  
 Toyoshima Kouichi (豊嶋 紘一) D114  
 Tsuboki Kazuhisa (坪木 和久) D114  
 Tsubota Yukimasa (坪田 幸政) P305  
 Tsuchida Atsushi (槌田 敦) A101  
 Tsukamoto Yukio (塚本 幸生) P358  
 Tsunematsu Nobumitsu (常松 展充) A305  
 Tsuruta Haruo (鶴田 治雄) B206  
 Tsushima Shunsuke (津島 俊介) C162  
 Tsutsui Junichi (筒井 純一) P311
- < U >  
 Uchino Osamu (内野 修) B111  
 Uchiyama Akihiro (内山 明博) B211  
 Uddin Md. Rafi B368  
 Uebuse Hitoshi (上伏 仁志) B153  
 Ueda Ami (上田 亜実) P131  
 Uematsu Akihisa (植松 明久) C155  
 Uemoto Tomoya (上本 智也) P125  
 Ueno Kenichi (上野 健一) A152  
 Ueno Mitsuru (上野 充) D110  
 Umcbayashi Kenta (梅林 憲太) P111  
 Ushio Tomoo (牛尾 知雄) P365  
 Ushiyama Tomoki (牛山 朋来) B365  
 Ushiyama Tomoki (牛山 朋来) C103
- < W >  
 Wada Aiko (和田 愛子) D365  
 Wada Akiyoshi (和田 章義) P198  
 Wada Akiyoshi (和田 章義) P331  
 Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝) C306  
 Watanabe Akira (渡邊 明) C109  
 Watanabe Shingo (渡辺 真吾) D164
- < Y >  
 Yagi Kazuyuki (八木 一行) C351  
 Yamada Hiroyuki (山田 広幸) B304  
 Yamada Hiroyuki (山田 広幸) C166  
 Yamada Tetsuji (山田 哲二) C104  
 Yamada Yoshinori (山田 芳則) D204  
 Yamamoto Keiko (山本 恵子) A162  
 Yamamoto Masaru (山本 勝) B161  
 Yamamoto Masaru (山本 勝) C209  
 Yamamoto Masayuki (山本 真之) P379
- Yamamoto Yoshika (山本 桂香) D358  
 Yamanaka Manabu D. (山中 大学) A165  
 Yamane Shozo (山根 省三) A358  
 Yamane Yusuke (山根 悠介) C161  
 Yamano Mitsuo (山野 満男) P353  
 Yamanouchi Akiko (山内 明子) C210  
 Yamasaki Masanori (山岬 正紀) D111  
 Yamashita Ryoji (山島 亮二) C356  
 Yamashita Katsuya (山下 克也) P174  
 Yamashita Koji (山下 浩史) A364  
 Yamashita Yousuke (山下 陽介) D170  
 Yamauchi Hiroshi (山内 洋) P172  
 Yamaura Tsuyoshi (山浦 剛) A213  
 Yamazaki Akihiro (山崎 明宏) P189  
 Yamazaki Hiroe (山崎 弘恵) D109  
 Yanase Wataru (柳瀬 亘) B303  
 Yang Yi (楊 芸) P191  
 Yasuda Tamaki (安田 珠幾) A110  
 Yasui Soichiro (安井 壯一郎) P102  
 Yasunaga Kazuaki (安永 敦明) C164  
 Yasunari Teppei J. (安成 哲平) B207  
 Yasunari Tetsuzo (安成 哲三) A151  
 Yohgai Tshiroh (用貝 敏郎) B169  
 Yokohata Tokuta (横山 徳太) A114  
 Yokoi Satoru (横井 覚) B301  
 Yokoi Satoru (横井 覚) P112  
 Yokoshima Satoru (横嶋 悟) D151  
 Yokoyama Chie (横山 千恵) P117  
 Yonemura Seiichiro (米村 正一郎) C358  
 Yoshida Kazumasa (吉田 一全) B357  
 Yoshida Kncji (吉田 健二) P307  
 Yoshida Ryo (吉田 良) D208  
 Yoshida Yukio (吉田 幸生) B112  
 Yoshihara Keitaro (吉原 經太郎) B364  
 Yoshiike Satoki (吉池 聡樹) P315  
 Yoshikane Takao (吉兼 隆生) C208  
 Yoshikawa Eiichi (吉川 栄一) P182  
 Yoshimura Jun (吉村 純) C309  
 Yoshino Jun (吉野 純) P107  
 Yoshioka Mayumi (吉岡 真由美) D112  
 Yuan Chaoxia (袁 潮霞) C205  
 Yumimoto Keiya (弓本 桂也) B205  
 Yumimoto Keiya (弓本 桂也) P395
- < Z >  
 Zaizen Yuji (財前 祐二) P188